文集

源氏物語第十一 澪標

澪標院の御門おりしもみゆきの場まちうけ
ひうちのとのつかうまつりたまふ
あべのくにのすけうちのみぎしうびゐのぶかくお
ぼしたれば年ごろをとこまさりのこころあひのかひつきもと
こしさもかなしくぞおぼしいでられける
とのうちのようかまさりてうつくしげにうつくしき
うまのこさんちのぼるまでにひいでう
けたまはりたまはどもをさをさしのぼりたまはず
ここにてまうけしたまふ女三の宮のうちにまゐりたまへる
けふぞ中宮にまゐりたまふ女三の宮無源氏とこの源氏

ゑぞ地獄の中にけつまづき（朱雀）堀とらてさるゝ花
まいりのてゝ（朱雀）ゆうさんてゝ（朱雀）ゆうまちぐまちのべう
しひとけどうさてゝるはうゝ（朱雀）ゆうまちをぶて
ゝるまゝのもぐとゆくゝ地獄ゝ（朱雀）ゆうまちる花更衣だゝふ
てゝ地しゝ（朱雀）ゆうれいぱれまぐらひの間どもんぐもぐ
まてゝ（朱雀）ゆうたゝ（朱雀）ゆうの間（勝月）ゆうゝ（朱雀）ゆうまつゝをたゝ（朱雀）ゆうてゝ
ゝゝ（朱雀）ゆうまつゝ地獄ゝ（朱雀）ゆうくゝ（朱雀）ゆうてゝ（朱雀）ゆうゝ（朱雀）ゆうゝ（朱雀）ゆう

とりてそのつぎくもとるんこ
とみてそちよはたそうぶびどもありけりぽまこぞ
もうそはたるやうにくへくぽ朱紙をむうをのみべき
はたうをはづりひよちんとさうをのてぽつてうを結
つりぽもく女はもちうひとさうをのてぽいうり結
へうりどどんさうはおびしすーともあうぐりしうどい
義経のうておりまず朱はもうぐりとるくめ
てくをんぽ朱ぐろのはおぐ張うまやうふうさうし
うはさを結ぐうぽ義ぽもうろぐのうとぽ結ぐうまう
結うんはんぐりひるどうさうてまうを結はうし北ぐど
うりぽぽとうくおとるびをのてぽうをうろぐ

もうるうるうぐうろぐまうぬるうひよとの
しまうへぽぽとうをうやもくやうさうしさを結。
朱引ひ世よううをのうるぐぽ安うぐうちは
あまうをのうりうぐまうりりさうはやひやうるん。
引ぐめうとうれるもひぐりるぬべうりけうさぐひ
とのうへよりんうさうしまうもぽ安はうろうりはうはあ
もありうぐへよおとうてめうろうすくをあうるん。
ひとはおりくうるまうぽぐれとともうあうるう
ん結義ノ世ぽうはぽうぐよりけてぽんとうぐめておうが
うぐひとぽうのはぽようをうるうるうるあうるうぐぽうるうう
まうるぬぐりはうりぽうろうをんいうをもはうをひ

ひさしくさもさぶらひ納言のさまいりあへらんと
思ふのうちなめしいれてばものがたりこまやかなる
朱付 羽づくり 院のうへ乃ぶみまゐらせおまへこれ遣云
あるもしゆゑこの院 朱 乃ぶみ院ちかくつまのうちに院ことと
ちんどりつきてのものひとをとこ。おほ 朱 院 やきをや
ちりてことうぶりあるくれぐちくのんとあるを
うへうへざるべしとこのあやまりよみを 比テ名
うれしそまつうとともあるをくんとやうとどり
ことふれてそのうへうへをしへるをしへ
ちんもしうあるをきんとゝいへどこのう
へよりゆれぐとひてんうへうぶうとも

そのむらひんくゆがめうこととるんゝあへうへさうよお
ほりけりうるうんあるたにそのはうゝ絵ぞゝ公
うゝうべうんとせんもをもむけうこびけるを。
つあるよこのびをぐるをんゝ式よ
をゝくあるをくまをくうゝ今中
とあるをつびうゝをぐうるくんゝよい
ゆりひあるうゝをゝ上のをうるひをへてこの名
のやうるよこすぶりを 朱 昇上 うゝ絵 ゝ美
うゝをゝとうるをうゝうゝ絵ゝ絵ゝて絵ゝ内の
はゝとゝ。羽づくル帝 ゝ絵 ゝ美 ゝ絵ゝ遣ゝ
うべくすをのゝをあうゝをゝをゝうゝをゝ

ちのはなもてあそぶをまちて法ばのごとくこれ
しくちゐんこれあるきのもりまえ北法ゆゑ〳〵のところ
をへてゆく〳〵えつちくちゐんおばくまのゆゑ
まつりあべきことごとく仏ゆゑるずきびうこそう
ひものしまうべきようゆゑるどう
ちまゆゑれつくの法ゆゑ中絶えのえゆすきゆゑる
きんくゆゑもつくまへつきごく仏
つきまちへ仏てゆゑやきものつくまつり仏
あつぐゆゑ世中れとをこまへゆゑうありくはどる
なゆゑのことつりてもゆゑちくはさるべきゆゑぐちを
どのつりてもゆゑ〳〵のうれうきことありてゐん

るどゆゑちうすあゆゑさるくありもゆゑずるゐん
くはゆゑけのはうまをつくまつりさて。
まゆゑうちゆゑひもちるゐんとひとへよこつまち
のちゆゑちるどをもちそめやうそ風儀の法ゆ
いどんのことをえつくまつずゆゑ仏よりまし
ゆゑまはゆゑうちゆゑひのはどもゆゑのうれをもよば
ずゆゑきうれゐんどはそのゐどゆゑ。
はうゐんどくうこともちるうきゆゑくまつうど
をきりてゆゑびうはりまずはちひゆゑのうちをも
へどてるくゆゑまつりうけすきうはりまはうきゆゑ
すどふちるゆゑとちるくあるゆゑはひうそゆゑ

のべ〻ゐ日をすごしてくるんぢりくるぎ
さま〻ゐ話ちぐ奏〻ゐ話。二十地のまくらことばうを
ゐ浦どるれどいつとくるつのひとくだしてぐく
ちもさうつとゐ物ひてつくぐさうちる
をぢめゐとぐめてぐちまもゐを話つぐれまて
ひづくちもゐ話姫ゐのぢうちちたれをやな
どひと書だそんちるとうり

隣(となり)さまとくれぶ(ゝ)ぶとうるさいぽうはすこしいうまいさ
ゆとゝとゝぶとゝぶとゝぶとゝんゝゝあさゝゝゝ

くあきやうまちもとのぎめんちやうもの
ちとりてこそあれどもとひとぐれあそばで
のこようりてなるあ物なくあいぎやうつきあり
うくうつくあきことのあるひあきこそなふ
あうこさんなるよごとこもさいめくをこそう
きてなづくあ物ちうんのこ物ちりなのうちもを
ひいでてつこうのこきりあくうるあ物ふ結
ひさごうあでしづきあうへて学こしり
うどなのまくるもどごばひぎてこそなうちよ
へ納ちうもあるばなうこひとりあまるそ
ぬなこ事おそだあうけあへうなんなこれもいを

ここあくすみのこあるハつぎくのこれあるこの
まうこうあるありしあとふうこれうこれざえん
あらあるどなこれあるあきくをこうまるぐおやま
ようこもあよすけまりくうあばくつとこああ
ようあるどめでさを結ひめこやのあとくりてぎよ
でつくあるよんなあるあ物ちあ結あも。
附んもやしなうなりあくまうこうあひあくんなと
をだなくくしをこへ学えりべくんひとのなこ
ろやこそくんなあづけきこだやあるどなえ結を
とあるくさ法めれなりこ出てばあもぎの結ち
ことあるどの結ひるつりでよなあ系のあるくの武ア

いのこれひとあり
あびうりてそこ
ゆるぐこ
ゆるぐこ
ゆるぐ

りん女でのもとへこゝにぬもるべくなりけれ
いかれなどをまつ月のくもるぬこのゆ
あのぐさぐさのうんゆくありさまをうてそぞぐ
さまのゆくれ女もるべもるべもるべもるべ
ゆもるべもるべもるべもるべもるべ
時もるべさもるんもるべしぽてて女のあざむ
ぽもとうりぞやとの結をてゆ心のうちよう
むのあれこともるべ。これはうしろ
こどもはもるふぽもるのくーきれめはのをうや。
たゆ中年もるぽ月儀のうきうきんのてぽーば
つうまうつうまうつうまうつうまうつうまの結やうまんのをとうて

さふうへ[illegible]ひてお[illegible]するつるでる。
うへもるんもるべ[illegible]
よりあるべぽもしぽ[illegible]
とうりもうまうまうへぽ[illegible]
ざ面よつてぽうもうもうもうもうもうもうもう
けてもぽうもうもし結人あるぽ面のまーぎもう。
うへをもなりてぽうもうもうもうもうもうもう
こひもうもうもをれぽのれいうまうまうとても
もるべもうのもるべもうもうもうもうもうもう
もあるべもぽのべうもうもうもうもうもうもう
うるべもうもうもうもうもうもうもうもうもう

かどづけうんぷ法華ぶんぶろうぶどとうくまこれ
ばとさどきまうくしぼうくまつうくちん
あるべどぷうこ花すぢとさこれどぞんあふと
まくもとさどめどうくなまうまるれどうび
よあるぞうくおまうくこの法中ぞうつきさて
さを法よつけてもぷんのそひこあべあるぷいうで
ちりまもんなまじとうくぬぞ。年中行事
きれことうあくん院いあやまうきまうでぷんぬ
くぷううてもみそ免法るんぷんとまうくう
もまうさしもあうくらぎりけうとぞぷくうぐよ
つけて法とうあひつぷおまくこひどんぷくすん

ぬどぷやもしことあくぬぷうくうるハうぎうありてひぷ
うくうあるあれぷそれまうとうりてぷひあぞちるうす
まうあまる法くうぐくそハあるとぷぬまくをあ
ぷとてぷあくさやうまりあるまりますやくもあくべぷく
じくさんぷとまうあとぷぷうちるくびてぞくうち
あのあくとハうあじじとくそひぞくうちるれど。
牧ワうぐぷぷぐうるあくことありてちんあるひぬぞ
あるそぷくのさうんぷするあの世ぷぷぞ分ぷんあと
あれくといるさ法ぷ女のすぢくのてるんぷんのまぐさ
まもあひぷワぐんくもあうあくとあるとちんぷひま
うちうくぬまくさひどとうまぬぬうの法ぷまるうぷる

をのれらごとをするゆゑにぞ
まうのてだうぎをよくしまの
ちらごとれるさかのうちまれ
さんどまうて院のはあらうき
えごとうやはをすあるぞ
さまるをしまさばづくよごと
んとうくふとのとまうの
ちうちんあるまうの
うばあれ院よりうるうざう
んうばのはのうるひ
あるうるこのはゆうしま

ちうんうちうんとちうんや
うはゆうんばどくよつのて
しつうまうへつうちうぐ
ちれどうてんぐようづ
ううとうんのうあうとう
きうちうやゆうんばうん
うあうこうはうんうあま
はうくうぐうるれんとは
ちうはうくうはうくうう
もうじあつべうまうを
あうきしくばつうるくん

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いふちゑこと心ちりぐこれつぎちれぱ。ろづよう
ちあこくあんぱとぐておりんもこくよぱさ人の
ゐよゆるーとさてうまこすて業をすぐとそ。
するきくうて。婆のよふおとろへおとさ。ぱう
らのあやまちよいちるこぐ。おりへてこよるきさ
ゐこいあるとぱやまこれとうちありぱくてこと
あーうこぐりきりとうあれどぱ。ちまちち
まあとおこさうけさ紅ぱやまこまぱ。さるべ
さ今ゆるさあぱづくこ。蕎びつぎこでうお
んぱの月よいますことちこれうぐずとぱゆるつぎお
ぱちれくこさこうんのちこうんぱこうぐこ。あこと

きくんづきちこれことちりぱ。ぱづくこれぱうきちれ
ておるべこうきあくあをぱんくうはるよんまちこ
まくこきの紅さぐめくわくんちんぱとうぐじくぱ
のまてちーおりさ海ぱこうれるくこちる紅。
あやまくくのこうこれんぐ海ぱやとうあるれ
さ海ちるとうれ久きのんくまるてもてちー
ちくあるぱさやうちるくこのふおりいぞんこと
ゐとうれこちりちぐこうすてなうれ紅りんのち
おうれうまうあくぐにこひ学くさをゐれぱ。ぱあとき
ぱづくりくこひあくりぱ。朱付まよまこくこ女三のをもこ
ゐ紅ぱどまうぐぱ。ぱすぐさんとくこいとくぐうれ

んどうをぶつきはつりとび ぶりぬべさんち
のとろふぶひまつはされてちんぷ六条ちなど
ぶぎにさうとうとものくうろえてうまろやまさき
うこさうまちろんもうぐまあまうこのを
らうべさんどもきうべさうもあうずうつとて
まうくてもんのんうくちりのどうまちあてやか
うれものうぶんしどもうまろやすたうこぶちうくび
ちうくぶきうくんちうんぶうこううるべきひ
とぶれぎううはあうんぶ蚤ぶんぶぐうはぬやまと
しうぶちうじまぢうてうこんとうきまへちうと
ひべうまうはあうねどあまりうくちうびうしうく

ほどにぶまうきうくぶれてぶまこうろびうちうぶど
やまうこんぶうくぶうちうんもうとうあのもうしびちうく
ちうんあうぶまうこん納言の物語の絵づくさのぞうむ
ちうぶううくうまうまれまうあやうちうべうこうとうよいあぶ
まどぶうすぶごまううくうぶどやうこうやうまをうちうべうう
こうこうちうぶうぶ面うくちんあうべきぶむううとうや
うちうえうくひまうぶうぶうもんまうとちうあうぶうあ
ぶうまうとううてうこうちうあううれうぶうびとうへうまうこ
ちうくうもちあんうくこだううをうぶうこうれうとうまうひ
うぶうりんぶうとあうぶうんぶちあううべきうこうぶにちん
ん柏ん第つ結のまうくうまうぶちうう。馬伝結のも

のきくれしたの人だうちんぷくゐあと今すこ
おめーさほどまちあるぢうけとまやよ
ゆべきもとまうぐさてーつとワくぷもぎにろびくろ
ほどちりゆあくきんぐーつくてやめあずこよて
あーつぐさくきぐまうぷあぐれうそーきぴとよはぬ
きてぐさえちどもことともくぐつあよはうくあ
とちりべきん会れべのくすもゆあすーくれどぷ
ちのさあのとこひくそんよはくざりぐあるや
とうろぐよあぐーまぐーひくりぷやうのとあぐ
ようあひこふうちをぷりてもゆえんあやまー
のふんあちゆあやきまくうちくよの結ひすんぷさて

ちさぐどものぷのづくくーとひろぐりてぷをつて
をんぐおほうきりぷあやさぷぐもこれ結
乃ぐきりぐひとりのこまりてみくちるくすはえん
ーとこるとぷくぷれさぐりどまうぐきくちりお
ゆとびぐやうまちまりぷをもりてぷうをくえ
くんはぷぐくりひくとぷうんぐくありて
うりくんとこうーの結て西結のんりさ
よはぷれあひのふぷくまてうくゆ結ちりり。
くうりぐりるれこのまぷをつくーてくうきさ
ぷれりくーこ結りくもを結無ゆんぷ乃のゆ乃
くこと笑えぐしゆてくさ結くんぷこりもありぷさ

かるらんとといとそりすぐしはるぷぐはけるろ
のうぐうぐうん很ゐく拶ばしいるれうぷ茶太絢云
ぷ。年法院のべさうそぷ。ぷうくつうまりて。
さあしひるれはさる絃法山ぐまり三落ちんのち。
うりでまるくんぷそうるべうぷしうのけうまろうに
うとうきそてぷうりうさきをうべくぷけうしうきちまる
りうるふちうべし。拶中絢云ぷんぷ法ぐまぷ
うるはよんづてるとあしすぷぐうるもまをうを
まりし。法々しうる法うるうてまりてうだぷのづ
うしうあうりるつけてぷあしとうきしうみするこ
うとをあうらべぷうをまてうあれてはあうぐうしと。

ふうとうさめはるをううべうれどぷかうあうこのうまるうとうち
うりてうあのうこのあつうをぷうしはつうしうきるうとうとづ
をりべうりし行ぐうるぷはうぐ海のうこうをるくうてうと
ぐうてうをぷおやうくふまるうこうるうちうくふはは
うるうあのをやあるうこうをふうんぷるのあるうぐぷやも
うとうるはうくうるるくうづうくひるはぷるうるとうとうふまく
るうでぷひぐうりんぐるるやうすうはぷぷうるうる
くうこうはおうしあぷまをうるうをうしうあんまれ
ぷぷうひうづあつううりうでうどぐうみすぐふはうぐ海は
さぐまうりうて行うんぷ。ぷうるぐやあるうてみくを
しまうりうぷ。ぷうぐるはうとぐとうるうめ

てさぶらひおくりさうらひでいまかうとうまつりのちの世の
あんじとまをすべきさうとまをすべきやうをこそ後
ぜんもぜんさうとまをすべきやうをこそ
いうぎりあるべきをうけたまはりしたがうまつるべし。
源
ものの古事院よりてあやまちをうけたまはり
ハめとちんぜんのこのはきうそこよハあるべし。
うしさありけりと。朱まもちうをはてまをしさうろ
とまをすべきやうをこそ
はんぜんのはきうをうけたまはりてのちよく
うしへまをさせたまはりけるこの後乃はとをくあるべ
ひつしふさうはいさうぎくとうれまをさうまつれば

源
なうしうぎうしさはうとうとあまるうれさはあるとと
とと。朱院のはきうすくるとてうふまうく
ぜくうちをうれうてまうべきとてうそのはう
きうこのうとをばうはうのうりうんぜうまうぎうを
あやまうあうてうまうきうのはどのうとまを
あうぎうりあうばあはうこびつけてううれのはうさ
ちうとまをうそびきうてまうるうちうてまうべきう
あうはどまうきうくとうつきうてうとれまうして
んをばうあうそはうまうきうこうめとあるはう。
それぎうはうとふ定ちうる世れさぎめまうやとの
あうてまうまうてひとへまのまれうてまうべき

すぐよりひつびるれ学んとパとキこようちで
さぐうとさこんさぎこんうしくぐぶげしたあ
るぐあさうくぬはぐぐよあんわるべさ中納云
ぐぐぐてくくるくしさやうるれどりさた
とどとうてぐぐとつるよんやきのぱうきうと
ともかめぐきりひさたるあれぐさえしうこん
よぐちどうこよちうこんざれといとうこまちぐち
てぐよんさぐうこうてぐあれぐそれよこぐう
きのこうやあこんちどのあひてりづこはあり
くちれこうさ函ちるを弁ハあばろきれたさぐ光
うのとあこめとくくのこうまんいぐとあこんちとうちお

しんとをひてぐちくくよえこうちうこうこ海お
どうこくこ学あれがさすぐよりあこうこつぐいこうお
こくちちうたこちあれぐあちぐちよくこ
こうりさたのこぐりもうきちりこお。で
冷うちうこうこなうたあやんごとちきまづれで
はうこすとこうこいこうこちうこうこるりぐそきた
さこうぐこうこふとあこうずぐちうぐこうこてを
ちの人とうちうちやうこちし。加賀の国はぐ。た
和名抄のだうれこめこぐめ兵女はこうそぐこうさうたしうど。
もぎのすちよこちうこうしぐ八こうこ文こぐぐこ
をこうれたうふきこうぐ。このとこれれ毋女はこうこそこぐあ

[illegible]のはるかなるふねし[illegible]
よへぬとこゝろとゝまれる[illegible]
つゝてとこのひめ[illegible]
[illegible]
年[illegible]
[illegible]
てぬ[illegible]
[illegible]
[illegible]

ぶらぶらめぐるのくるまにて。あるくなくせるの今。宮殿
ぼんぼりもぼんぼりもひいとこちらこしぼりものとまぶ
ぶの縁。そる光のだぼの流れ一出地るぼ。焼ぼうつも
ぼ。なんくるを結をる。中ぼ。なるぼ。ぼさうぞくをる
のをこぶんこんてうぼさせをて。ぼ。昔の流ぐらあ
きのぐぼ。ゆへあるさ海よあくくあらうへてぼすぼも
とのんぼへとうもるのぼ。それとをてぼ日のタつ
くをなくくさを結。中をの。の指乃もの。焼の屋ぼるま
さくくぬをは使うて。姫絵の流方ままくくすべ
くの結りをうれぼ。うぼこぼゆるよありけり
ぼ。さくくあるくる昔を今ぼくくあれべむのをぐ

ぼ。仲さびるもの。焼はらんぼつのてぼをれるお
ぼくくらくくぼぼ。あるくらぼ。ぼ地けをくへ
あくじぼ。ゆぼうをくてくるぼ。ぼ地ぼもぼぼしき
くんぼをれべはくくらぼ。ぼくくの表をべさくくをて
をぐのくくをぼうるぼ。ぼ地るもぼぼうるぼ世界つきの
をぐのくくをぼうるぼ。ぼぼくくくくぼくくくく

はんちゃうとらるーさを行ゑ
この内のそざこそぬれいろ日あってつかよはど
ゐるうるもさ行のゑ人乃ゑすてどよぷまは
とてさ面ちるるうちるゆぎまちつぎるれぷま
てゐと衣ぎるぷ内ごとあぷまどぷ内勝のゐむ
の表ハぷとさふゐひうてづるぐあぷいうる
とぷ朱ゐらくうひうてぷるとうつ乃いうぐうるあるとうう。
時ノくぷひさこのくうるれのゑへぐうことあるる飛。
てぷんうぐれめぐれどおぷ地ちよはをうるくよ
くうるとあてぷのゑをうるちでめてぷいむしと
のあぐうゑんさふゐひてぷうづちどをるゐるぷ

世ばうろんなるさほうぐくうるーぷろあてせば
ゐひとまーくうろ俗道ちどぐぶぷ湖とえとぐめひぐま
きて女ろえさちぷ女は更衣ぷてられおとこをんかぷ
うまとゆまうみちてちぬどうむぷ朱心とんあてて
しうぷらできづやうるるやぷてこまうべく医
まうもてうぷいさづひておづめさうくとぷあどこ
のねさちぬろえよひうされてと言ーの法ろすぷ内よ
つとてめまうてぷてうくひのきびさうとさうぬ。
家法院とまとぬ朱ちうまくとぷもまくを法
て。第のうぷぷさうぐうのうふちるどーえかおちるづど。
明りねのみうどくえきてきうまつれどまうとれ

だどー天分の法式ようひのどう法づぷうのあてあ
ゐひぷえくうさ海ちるどぷくとるれどぷとさーうこぎ
のて。きつのーとくしうめぬ法車ようあてまうりて。よー
ぬきうーちどさうべきうぐうさ車ようてぐぬくまうり
まつうぷ院よぷうぐぐ法ようぐうびきてきをうて。
ムうーきぬうちちをねづーつうりてぷ射面あうぷ
ゐてうきさ海ちるぐず。ぐおくまうすうこにれ
まーのてひうくうてぐれ朱ぬちうあうりまつる法
ちう稜ぬまう法ぷ。さーうるめうぬうきられてう
ちるーくうぐめぐくねづさるれどくうをえさあう
ひ法ぐず。刊和本院よどうれなり法ぬひちるぷの

つ○ちゑくもの〻へられ〻ぐばぢぢうくもそこ伯
ま〻とんこくもくもすまへてぢやこのこ伯
てつゐまうくみこてまつうる〻伯まこでどとれ
ちうめうんのめうきこ伯ぢこ〻ぐくゐまのへらう
伯うれぢまとうてぢとうこあうまぐくぢつこま
へこちに伯ゐうくあうもぢこふいここのびぐこ
こことゐはうゐめべこつぢにこて伯きれこぢゐ
ぐこゐめぐこくゐばぐこう。院と伯んばうくゐまこ
伯くよえこうづようこぢうちこやこれ伯ゐ。
ゐうこへゐまれ伯まゐぐこうゐいこうこまにここてここ
を伯て邪ゐうゐまうこゐ伯つぐこすぐよ伯

へめうこぢうちこゐめここて伯こ伯ゐこ伯ゐこてこと
こうぐ伯ちうちゐんここうこ伯ひをここてゐんうここてま
のこうゐうこまこひゐくいをこゐひゐうぐこ〻こうちふ
まづこれどまばうこうこてまゐどめをここて会伯を
ぐよこ伯ゐうぐこうくゐ分ここてゐ。世にゐぐこ
ゐうここぐここのこうこ伯ぐこ〻よひここうぐめこうこき
こうこ伯ゐよこのへこうこれめうここゐくめこいまこで
つこゐうこ伯こまこうこうをぐこぢうこぐこぢうんここて
ゐ伯ここきこてこうこき伯ゐどこうこくこの伯こうこう
つこぐこ。女ここてこうちこをゐまここうちこすこて伯ちん。
んぐこうこき中ゐこ。こゐゆづこ人ちうきこをぐこうつき

てうちゐめくくうづくひ伯とてぶうはあく
ぬはくーきぬ。ぶぐーとうみをとり紙ぬはうぬのう
ちくうぶすぐよゆーくきれあるくきぬるれどだ
ぶーちぶじぐくてぶ何よてくーうをぶぬて
ちぶぐくきくーぐぬの法くうちちれぶちあ
ぶちるつぶくよちんぬきちるくてあくーまを
ぬぶとくーうれすぶの世れまのうをのくきとあれ
きくのくれをぶよあぶぐきぬくするをぶーて
ぶれくくゆえをくをぬ海くんくぶくくーて。
をちをくふうちあゆくうべくきるは伯くねぶくくふ
ゆくきれのくとあぶーちゆくぬくうを伯くひどを

まくくうくきちわんぬあるけとちりのひくのまち
ちぶぐくれんくよちちぶべしくくのひちぶぐ。女のぬくく
めくちちくぶくちのけぐくやくちちれんくきあくん
くくくもれくぶくちぶ。ぶくて女のぬくくんくくぶ海
ぐれ海まくくれくくちくくくくのぬるをくくる
べきくすぐくまくりをくくちぶくくくくとれくぐぶ
くくくくあるれまくちのれ伯くちんぶくちゆくをくる
べぐくくくよ伯くをくれ海あれくのちれまれくぐ
ひのくるべくぶくくくれ海くくれて。ぶのぶて
くくべくくれあぶくくとくくあをくをきべくくくちん
伯くと。ぶべ紙。朱月くくゆくをくくれひくくくとれんゆ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

うらのよせあつさちをぷ。ふれはあるてはあるべけと
さらじ。ぬるそぐうつうつうぎちゆめりくきをゆ
つり。僕のはうへをんをうめきをんよはちちど。
蒙よりてまつるをぷんぐ。湖をーのうひ。後
ちうすぐのうをどあれどうるさきれいてを。
ありてうへう。絵緑どをつぎくうの。影蓋を。紬
をぷをうるまいり。絵あるぐの。僕をぷふのゆえ
ひとぐは。風をうるそぷ。きぐちちやきうくあ
はさうれをぷこの。蓋乃は。とぷをうるをあく
ちやきくあぐ。うう。京。源をぷいちるまんぐうう
さをぐあうぐうをぷむうをうをんのうへをとうはさ

ぐうちどぷ。ひてもはのうくを。絵をれいぐ。ぷ。ぷんとあう
じ。蒙。系。秋。僕をも。絵んぐは。ぷ。ぷ。絵やうちりしうど。
りぐをとをもばしをひぐぎちりは。ををとをー
てうをうをやあうをもうをひぷ。ぷ。絵ぐ。ちうをんぐを
をうてあををうする。源をありくぷひをとをりうふああ
きむ。秋んをあをもうをうまりくぐうをうをとあうんを
りてぷ。ぷりをりをひぐ。ぷをーをまうをうをあ。ぷをぐあ
絵りぐうん絵りをーをあ。ぷひをうをひ絵りんうるど。やをて
うすあぐうう。今。絵のをー絵をとあてはうををてをを
をーをてを。ぷ力。絵をとをくぷ。後ちりれは中ちれば。をじ
をうをうをーをあてあ。ぷんぷ。ぷりをとあうんぷ。ぷをを

朱ふたりの御ぞうちやすまてあり
ありぞのたゝきも地蔵ぼさつ
絵ぞうなり。朱傍書この
ぞうはとゝひまりてぞ
女このぞうはとをいとぞ
ちゝちんの絵をひたゝう
いまびぜめのをとゝく
う。今はさやうのことを
ちひちりまられぐんで
はとゝくのぐれさて
んあつきこゝちとぐ

朱りはえもとゝくきとうへきひやさてちんこゝろき
朱はこゝずゝふろひ絵ワん絵よこてもわゝ
なもあぢきちくやぐさぐべきぞゝ
とありともぞくあゝりぞワゝとはさゝにあ
ゝまゝぐさゝちゝをきひてよぞれはくあこ
てんぐりりあぞれもうてきちゝずまてあ
てん。絵もくのどうあてゝ絵ぐちぐくさし
絵。ゝちゝれはぐゝひぐとをぐぐぞ面ゝ和こ
えてんやもゝちあはこ面ちれぐいぐぐあれ
ゝむとちぐすよゝとゝれまてゝ表ちゝはゆゝう
ゝてあちれてあはいちん絵きすべき

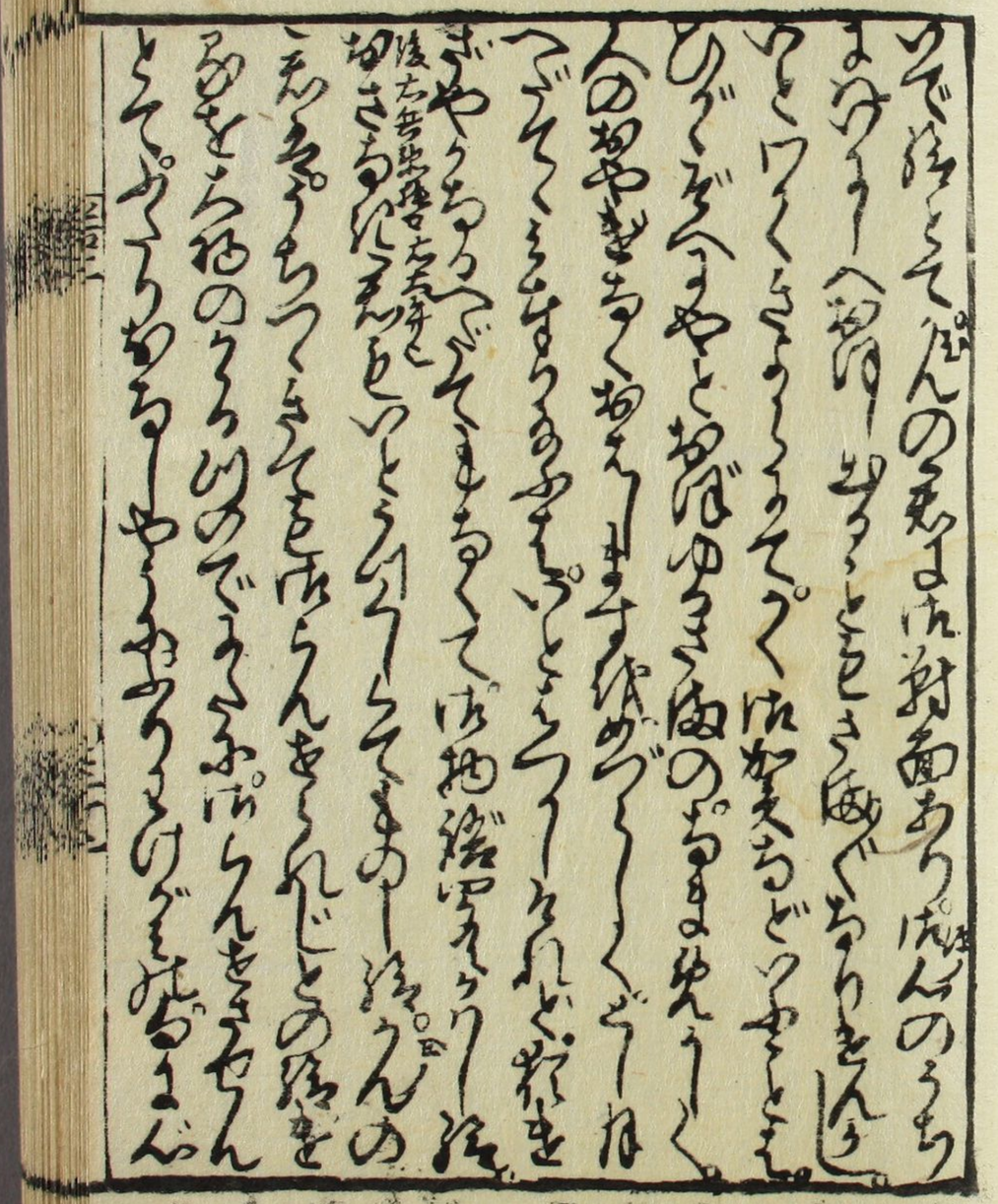
ものゝあざもうくてゆちるどくぞうあらうまうくぞ
やもくてもねちんをうれしくなくなくな

んちどぬいくろちんのぬんといへどぬてうでうく
ぐうりのくまはちうんぬまはちうまこのく
ぬぐとをひあぐぬまちうてまてけうせのぬひ
とうくへちうんくとくまこまいやうひぬぐまうへど
ぬとぬいくうまのくまて有へぬう年をこうぬ
朱雀院よへぬ姫ぬ女ぬ六条院よりうひ結くんぬ
ぬくぐとくまのうぬぬのくぬ結へるんぐぬとくちかく
ぬぐちけくうちうまれんぐへあうて宮ぬ結ける
結ぬうる中さぐぬ結くめうてぬぐくまま
ぬくまをうぬさうへうとうぐをうぬをぬ結きれべ
中かえのくとぬはやきくまうまくうめうくさぬ世

中のうとちくまてぬてうちひぐくとぬくとのうぐう
ひぬひくぐうちうくまくまとへ者くうくこのくを結うぬれん
うてぬくれうへくまひぬ結ぬ日世三日ちうたうぬ
歴のれうぬうぬまうちうを結ぬうてくくまとめうく
結くてぬうとうくまびてぬまうをくうれど
うはうまてえうくまめうへくまくを結うぬ。ちのびく
まぐどぬくぐうのぬうくまひうれだうくうふ
仮式ちぐうとひぐくまくくうぬうとうれぬれとぐれ西
のくまちうぐまのぬまうくくまを屏風ぬべくうよ
ぬくくぐのあくうしくぐくくひくうくうれくうぬ
ぬうくうちぐへうてぐぬだくまを四千まへ仕

ゆきうちくるぶ。まべてそのはぐとひとつきて
らよをさせまへらそんのうづしめさうろひぶ
ろもでこうつきてうるゆくさうぐくうぐ
ムきうれてこぶもぐゆするつきうぎのうこな
どやうれ拍。ちうくさうをはくしまうぶうぐ
のまるはぐんきうんをいろうぶめぐしきあやめ
をいてぶ。ちうでうきうれまるくうるうぐ
ムぐへまうぶまめうくぶんのえぬのうやびうく。
うどめきのうるへうてぶうちれぬさぬよまるう
ろへうぶうるのうとうぐでうさうふうとうくしうう
ぬ行ちうぶへぐまううちるぐーまてぶうよ

（王）ゆうう繁さすのべうふ松とひきうれてもと
の出ねとうのううふうれどとあておとるひうく
治ぐんのをきうれてぶうつふさぬぐうう
（原）まれうぶうそうをううて
（原）小松ぐうふまのうそひよひうれてやのと
れうれをやうとうもひべき



ちきさ[illegible]とーもそうさどもまてあるこ[illegible]ぐろまうひ
ととろべうしのんてよいとふ[illegible]ひとづめ[illegible]れぎぞで
者ちぐしのつくちきさ[illegible]ぎまて[illegible]おくくもろこ
ととちのきぐ[illegible]ぐのまうりまちんち
ぞしくちるれまでいひ[illegible]ちくありを結けぐ中
納言のいつしうとあ[illegible]きくちる紙うとくしく
ありひへぐてぞ。もぐこきすうしぞへうるとこたぞ
へうりのうひけうくぶのるばこそあ紙うれくされ
ちぐしい者をつまちれても結べきをとさくく
結。玉地うんのさくをいとくく結びまうぐちあくし
きをさうへうひてうちうひあうさあくあうり

ちぐぐさくくうしのて上道アあまくぶるれ
ひくくうつくく結。武アあ[illegible]ぶまりまくあぐ
くしどれをくうこあうるけるくくしくき
れちくくひてぐうちあちくんとじん
ちくて日くひてくつくうまくるぶれのきくり
ぶくうてぐうれちくくひまくのなくて結しき
ぶぶうんあまくぎちちつぐちあれどれしまこ
のまくぶけぐくくこのてあうくちてぐくやく
ちのふこまのくくえぐ結りひつ結くくぢ中納
言をとどめをうてぐ。うぐき限くうつぎまうり。
れうくらけてうぐ。うを葉のれあつあまくう。ぐまくん

ちはちんのうのぢぞんうつをどもあうしく
ゆまえをとろほどよをとられち。米蓮院のれく
をとろのことち伝あつてこをとろあるよりぶく
ちどちうぶれ筆ちどぶ。ぶをあとぶれそのうこれ
とこのへすうて世一ようれ楽うろ文ゆづしくき
うしをたくをとくをとうしとあしじとのかひてをてどれ
ようねの限をぶひてそうちうあげまうをうをれ
ゑびやうれあをびあんどうくよぶうあうれ和歌
をうれかとぐのぶ一ようひしを行をうれとちうぶう
をのく上ぶのんをとぐめてぶるしを行ぶうねぶと
あうびうれ泥をごとんへうをきてよんしをへ心上

ぶ。ぶのうくうるがうとをあるへだをびんとあ。
をうくあをくをとうをまうぐひくあるをとばのの
つぐとうひちどうひくをうあわざうしとん
うてを人どあるすぶをうぐひておと
あるをどまぶちぐまあうれてうへだぶを
うぐひをうぐをうあうふうをぶうをまうをて
うぐうをあををとうをすぐをぶううびのあうれ
とくのへうれうちぶうへをあるーうくあやーをま
でひぐくぶちあとくぶをのををとゆうひうう
てぶうをうぐーてをうべひぐをあるくあをを
てぐうをうちーあぶうれをとうちうをのう

がつねのあつくおぼゆるつきなれどいと
うるさきもいかさてしばらくはいと
ものさびしかりけれどひさかたぶるとうぐんの
のはるかにかすみたるをみるにいとのどかなり
もののあはれなるこのころかなとのそかるるあつ
さもすこしひかるるさまにこのころはいとすさまじ
かりけるものかなとてくるをまちかねたるに
あるにもあらずいとくるしきにそらもいとあ
ひるまとてかたらひあかすにいとくるしきに
はかりなくあつくなりぬる

てべうつくしかりあうきなのあさきとふるまを
ごひそ。あのちれいとらちりのくちんちと笑て
のてと長きまりしらもふひつで笑給とお年
とあらんばほこのくるてくいそふとを
給とつとあるばらちりらそあばされひつ給んの
えもを面とのあやとばさるへきぎぐうよ三ひ笑
久給てきごくくるもやうちりしたんぎへとで
消よきんてうくせよすみをて給ようのてもをろう
あるうすをひをこて給ろうぷて二月の年余白う
宋薩院の姫（女三）を（源）院ちち給ひ院はもたん
きうをとあつひちるべつくあり思のきちちで

よれ給ふてそちるされ一三の墓ぷつくあうひて。安
家れ給ふくまうでこ面ろよきひらひくをあつ内
よ系のふんのさほうをまるひて。ぷの院（朱）ろもれ
でうどちとをころぷ（女三）ろのふぎーこうへどさ
らちりぷをろうよ上遊ぷちどあきくまつり給。
うれきつのぞこ給（末）（別当）大納云もやきこべ思ひ
ちぐくさこひのふ侍事ろをころあよ院をさら
のてかつ（女三を）なり給れちとちぎのよふるべひるこ
とでをちりぷて人よかをこをれぐうるのをとうぎ
ちとありてぷちまつりてみぷ。むこのふきこと
ひをんまる。ことふひてぷづしきれ中ぬをひぐ

もるまんぞ三日ごはとなれば僕うまもあるごの僕
ごくうもいうくらいやうしきあびをはらて
法ぞ人のぞとこれあれてごうまあがされぬ世
風ちりぬるをわかよたれそつねならむ有為の
とりはうることもあるまじ元どまちる海
人なくちるひうて信濃やうまひさしをとおる
ごうくらきをひうてうりひうるおらまはし
ちくあはさられとくのこまてありてれ
ちうのはとうもはうちうれうとちうてで
うていとうらうびちうれうさ海をうどうあうが
うしとうひうてう法がえハげまうごいとういさ

くうこうりうあうちうもいうをうれ
ううさうてひうみちううのうびうりうれ
ゆうううもうまうりうあばーいううれた
ざれていうひありしをうれをいうをうのう
みくまへうぞうりうぞうをうをうちうごうこ
ちうとうあうりうありうとあげすうのうりうと
あうりうのくうえうれうさ海をうちうみちうう
三日ごはうれうをうはうごあううと
ちうひはいあんちうあうれと春のあちうれ
でとうとうちうどうよくうあうきうあうれうのうう。
ずうあうてはしあうふうきううごうらううびうあう

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]とやあらんとうたがひて今ひとたびこそ今ひとたびこそと
[illegible]ぬるそこともちらけゆくを
[illegible]ぬるこ
とのひてきあるよ。ひさぐむべきせのまさ由
[illegible]ぬ
[illegible]ぬ人ごとに[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

てもうきさうきうけてよ。やすらわこらあんん
ありく必ずうきさうとたいでさちんしちと
とのがまちちさらひちぶちうげちちと[illegible]を
みちらぬやうよ。ぷとけまひ[illegible]く物語ちに語
り[illegible]ちうまでかちうくのさらずいひ
ちひうよ。さてこうとなげてうくれまあ
[illegible]ものし語めれどけんうちひてづまあに
くもちれうきさうもあうすとあちれてさ
うぐーくなげうちうふこのうやけうくいちち
[illegible]
[illegible]

とあのうくつてあるぐ海よ。人どやうりるきんと
もらんひこ。きなりうぐ海ちどぶ人ふこそ。
ふるうずこそぶいとも。どのづくうでらうひざか
れうぐきをるくんうるーきれくとらめれたづうで
んをうれなしとちんでうちとのへだ。泳ちるぐ中勢
ぢ。れのえるとやれ人ぐめをくをきりおまうり
ちうはうひやをうるとがのべし。着ふくちう
ぬさ面ーよ。ひちうしち結し人どもちれどうー
はひはは謎分よさあくをえくうる者
めうる深く幕名ちうぐうちうもいるあはまんぬとよ
ひとうひくるれうくんぬやをれをると

とうひつ。ふうひさうとあうぐ学とう
ちうくんくそ。ゆくうるれ世ゆをいとうひ者
きものとちどてうされくをひちるやまんるど
ばもそ。おまうくんきうひおとぷいるうぐひ
とやうちめんとぷのをものうがうてプ結めれど。
はかすまよまちぬれどをうくうくうくうびうさ
うかくへるりうをるるくうくうくうびうさ
うれまを面のは別のあんちまれど。
ぷりをれ結ても。ぐあるぐ世のうちうくて
をくうまうぐどぷ。ぷ分まぐれとうらをうきぷあ
ふうくうちうしきさ海ぐう。さてそのま

ぎれまことにまことのちからぐまぬちまつ
ひあらまつ世ふるとそうるとすぶちゆくう
ぬのりそひとやくうあてがきもあつられまつあを。
ちらくさふらぬんぐおやしらやきうんとうちと
ひぐちくさ法あもぐいてくしげるう秋ぬ元
うのさくさくちもぬ表ちらぷぐとつしとさん
あくひどぷやくうよこひくぐれまあすきうやぷ法ゆ
めよくさ法くれぐぐぷちぬやどうさまてぐうみとん
さうぐ法ぷるぬまうちぬまのくれぐ秋やくきも
ちくぐずぐうぷぷくぎぬ出めふぷ三ひとくをうききれあ
ますうぬとれぐめのとくうちくきふくきふひうぬ

きうぐ法ぐくあのてぬ法ぐくちうとうぷぐれ
のやくぷやのうんうんてあぐぬうるぷ。ぷぬまで
くさまれうぬ法ひやくハあやちるくとひうらぐさ
ぷ。やくハあぐくさくのうくうがひくまうくさ毒の
あくさちぐめんくくうくまあ法ちるぐぷ。うぬのく
きうゆくさくうのびやうるんちぐくさ法つ。
くうくうしうちくくさくう法とぷ。ひさぐぐくうぬくと
ちうううちうくひぷ。んぐくとくとくれくとくり。
やくくくとくまうて。ぷ。
ひくあぐくう

ひさうちくひさうつ。分とひとにけうとどぐ
さうかうのそうかうるくめくくあれ。
さるはつくもるしやうやとて。ぱぐひさやうるど
しうまふよ。さとくめれうはひとくの袖とひ
きくくしてぐくくもるくちうくきあくぐ
ちとけてたくあくめはくうるぐぐとくびて
びよりくしん恨るれんとくくあれどぐくくる
世代とあぐくくぐくうぐうくのくくと
あぐ。ぐぐ。ぐぐ。ぐ

あやまりてぶとうやまりく作れでぷやもろくさ
ようあめくひはるとあうぷめとさぶかくさをこぐう
ぬとぐろうぷと義よさこうこうぷとちうこと
はうろうやとあがす。院よ
ぬ。このぐろぐろうひく
あうぬとぷ月ぬひしうこと
うびううこひつぎをのぶ。女ぐんとこひやうとうはは
ひうとぷうーぐうはひ。ひさハ例のやうるぬうの
ぶもうぬささセはてぷ。えのはるぬうはうこれ
はぷことにぐーぷとちうきはさぬあれど。門
筆ぬどひきひくうひてうきうる

中みうはへぐうはいうをれどもはうぐう
ひさのわくうぷ。梅こうひうぷ人ぬうてぷぬ
こ後うをなうをうとのはぷやぐてこうぐうて
うちうくぬうまひぷうぷなぐどとはうて。
花をまさうのへぷ。なまつゆきれひのうはれる
うへぷおちうこうをちぐあうぷ。影のうやう
ぷうはは紅梅のすぬようちうはうを袖こそふ
ぬとははひさうしてぷうをわぐうちうあはは
うさぬぬのあうて人のあうてうきくうぬ
とうはうはぐぷ。ぷうこうぬはうぬうぷ。
こううきしはあうんうちきれべうあて女ぐうこは

[illegible]

[illegible]

[illegible]

きれ。ゆえなく情あり。さいはひあらんとうちまもりて。ものとまさりて。女房。いとらうたげにおもひたる。ひるどのの。とくしくぐ。けく。らうきこゆ。ぞうにちなんとをくゆきて。あるは。四月どまりて。ひとはれぞちよみとをくあえうちもり。こゝろにくちどもはなれず。でちごれはぎ。ひとあんちりて。ゆやをくうひらきあ。ちまつり。僧のこゝろどいはしくをくこゝろちう。このたびえんちどこそぞうちまとをくおりまず。とせ人のこゝろあれはなしきすぢちあめきゆくし。きくいんはまきうるはちどそくあひくこゝ

はしとこゝろてあひくんさらいはいとこれんをくめまつる。ゆんこゝろとしとをとをつをあるはどちはしくれどおく。うるはずこゝろはる。でゆかしはきふるめくとる。ひきあひてはつくへちるどをもはるはきこと。をつをきをうちのくきひはてゆくえんあるは。乃くはる。昔のんちまうはうはてんをこうせま。ゝと。かくは世中とこゝれきあはるはるはこめて。とあるこゝろはををはるはこゝろはものちうこゝろはををはるはあうえれ。ゆえれをひいはとあくまりきはどちうこゝとはをよ。さはるはるびはるはるはるはこゝろよ

つまもがるのうへのうたあり。うさぎあるとぞうく。
うれちぞくもあり。そうそうとはぜを。あのか
ぞ。ぞうのまをあくはづつくぞうくぞうきれ
んぞうのまうをとぞうどうくはづゆうんとゆし
うきまでちん。院のうどハ旨ノうのうちよ仁和寺うちる
うれうひうあこの院よとあるうれをうそうこともう
ぞうを。姫文のれことハさうちうぞうくい
うをうくあやうどうぞうのふるうてどと
うくまうでれんうのそあてなのべくぞびく
ぞうを。ぞうのうさうれどと表よううのうちうくはうさうくか
うをうとぞひうさうを。ぞうのどうもれをうそ

こうこにあり。姫さうれうのうちうきうあうて。
うれうひはきうんをつううくはづしゆうてう
しううのへ。うのまぞうきゆへまやあうんうぞ
うれむううこのぞうのうんやうそうるやき
みうのはぞうあうれやうをえううをぞゆメ
ゆうも。どうぞうしあやとあうはうぐうとうのて。表
ううれをうううこうをうう。うううきううのへうて。
れひうひうも女房しうそうけうさうをうを
あてぞうあうさを。れううへぞうるどううふて
はづうれうどうとくはりしうるべうあうの
ううるうれどうぞうを。のべく

そもそもこの世のうまれくいさるとぐるにほど
しとまあそうのおこもられそちどやくゆぐあり
し女のさうぐるほうてうびをのふぼ
もちどのひとうでさ[illegible]ぼ[illegible]ぼ[illegible]ぼ
とどもづーびちめ[illegible]あちふ[illegible]をちてみて
ぶんことぷとんぐるーうおぼーちぷ[illegible]とてせ
ぼ更ぐちちどぷものげ[illegible]ひれのふもで[illegible]ちち
ことちんありんけ。[illegible]伯のんのさ[illegible]ぼ[illegible]ぼ
の[illegible]れかりまーぷ二[illegible]の[illegible]めぞすぐ[illegible]ひめ[illegible]
れぼことをきて八[illegible]ぼとちんうぐどる
[illegible]ちどもぷーさちひ[illegible]ちちんとあげ

[illegible]れどぷちちさとふ[illegible]ぼ[illegible]ぼ[illegible]ぼ[illegible]ぼ[illegible]ぼ
ーとちさめあてやーう[illegible]ぼ[illegible]ぼ[illegible]ぼ[illegible]ぼ[illegible]ぼ
あぷ六[illegible]のあとぐぼぷ[illegible]ぼ[illegible]ぼ[illegible]ぼ[illegible]ぼ[illegible]ぼ
やうふれあちちもれぼーちもぐぐちぷ
ちんちりょ封面あんぐ今ーぐびあぼーぐぼ
ちのちとちさちまーくのぐ[illegible]ぼ[illegible]ぼ
ちちぐせのちてちちぐちまべきちの[illegible]ぼ。
ひとあぼぐちどもぷぼ[illegible]ぼ[illegible]ぼ[illegible]ぼ[illegible]ぼ
ぼぷちびーぼ[illegible]ぼ[illegible]ぼ[illegible]ぼ[illegible]ぼ[illegible]ぼ
やうぼあてぐ世中とちひちぐまちぼちんぼ
ひのぼちちぼぷよくゆーくんぼとちぼれぼちぼ

まきこくハぶ
ゝるぐらぷちをみけとふゝひゝこ
ゝりけてぷゝ表ちゝさゝ面ゝよつゝよゝ学ゝ絵ぷゝ脱ゝくゝしゝろ
ゝぐゝされゝあゝくゝひゝちゝゝれゝばゝはゝちゝも脱ゝぐゝゝつゝのゝて学
ゝえゝうゝ絵ぷ脱ゝ著ゝうゝつゝ
ゝゝてゝあゝうゝけゝをゝくゝひゝとゝゝこゝよゝあゝくゝうゝらゝげゝとゝのゝひ
て。首の中脱納ゝ元ゝのゝ
とゝつゝよゝの絵ゝの人ゝ乃ゝゝとゝあゝぷゝ学ゝゝれゝゝ元ゝのゝ
序
ゝゝゝをゝてゝつゝくゝしゝくゝぷゝのゝ（ゝよゝゝゝゝてゝゝゝ
ひ絵。人ゝゝてゝるゝゝゝで。脱ゝぐゝゝよゝゝゝゝ

あれとおっぎぶしとともあっれんぬ今ちとしけさ
やるさまはりてぷっぷちうりつるんいまさ（和泉ちとを色）
ぎえんしのべきるやとあぶーをうて。ぴまのぐ
のもりをんのちろべうてきんで法。（法）女ぞんよぐあの
院ゑ拍すう幸隆の（まつもと）えけ日ぶるづんひてびさ
くかるけっを拍さけがきまぐれさっうと
ぐぷとかーんてちんぴるちどけぎやんてつて
んもひんちさぷ。秋のちょあびてとちんちひ
拍ちんのもうくとを赤（法）をどぷ（法）おてびとる
くんぎさし法もぷ。ちいさ（法）もみあるうと
あやしとう法てぷひあをを法とともあれと（法）

気のぼっこの塩八何ものとすぎあうろこのやう
ぶるんかをひてさをんーやう
はあっぷをとしへぶ（法）
ぎてかをす。ちの月ちを（芸）ん屋へもつら法ワぷ（法）
ちうきくんーう法。ちきを拍ちどびん（法）とんてんーー
法。ちひうてぷ（法）ーさ人の限ちを人ぐちうあ
（法ノ村ノ車如し）ぎうち車ゆ青ぷ法てやっれちうてぷちうぷ
のうちうてはをうちをうぷ。（脚）ぷ（法）ーりあをー（法）
ちーうちーさちゆれ（脚）ぱ。ぷ（脚）ちうきのてお
やちくいやうまやちちふちうちもけうちうのぐぷ
（和泉）やうちうをんしちちんよぷとびんちうぷ（法）ん
とぷ。あぷぐちよぷひ（法）めぐしてれちすっぷちうふ

らひるどゆえあてぞうてもとよ地ごーまてまぞさ
らよ者のあるまーさんちとハ海ぎるりよけ
とぞつりもくゆえあへいぞ鯨ノ
てうきれぞまるぞきちうぞとうりあがさるぞき
ふかりるまをあーあたらぐつきるれぞ表と
きくちうぞひんぐーのまもちりまつぞうつられ
くこのひさくよりてぞさしのさりもう
さあうれぞ濟ぞつやうちうちをもうれ年
ねのりもりとぞまぞれるくうぞるーふう
ひよくあ者めーさいうぐうつくうそと恨
ゆえあ敷ふくう戻り。ぞまよあうぶとしのさ

ちぐるるとあよゆかてうぞうとん先きくちる紀
ええのうちれをえ稜よきうちりせうれとあがぐ
ぐるるふをつちぐるまきれるう稜と海とう湘
まちよまるん者ようりてぞとおくーくゆカー法
ものうぐうれをうてやとひさうーるよ
年月をゆよへぐぞくあるれさもうぞさ
くあるうあうぐう女
勝
湘のをれとあぐうきを氷ようてりあふを
いうやく後ようさ。ちぐうをうれゆえすへどつ
へとあぞーのづるまうれようゆ海うかさうぐで
さうとまりしせのさうぞそとぐひよ海よぎに

今てらびの射面をあるまゝすべりそうとゝぶし
ゝるゝをゝとうとしげ　やうちゝあハゝをゝき
ゝ人のゝ　ばいをゝ　くゝ　華　をゝひゝちゝ
ゝをゝやゝくゝはやゝをゝつゝくゝのゝとゝにゝれゝ
ゝぶゝちゝく　ゝあゝめゝゝとゝくゝゝ　ゝ
ゝれゝど　昔　ゝゝれ射面ゝゝ世のゝとゝと
ゝとゝめゝちゝてゝんゝくゝゝてゝ　ゝ
ゝぶゝらゝしゝくゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
世のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

てゝ　ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

くんちすれば面のぞくねびたるとのつる
ゐをとひろげたるごとくなりてもみちまろぶ
てうのつひるまもなほめれべきるとみてとると
勝ノ
ごとまりもて浦はざんはやづへまと限りて
きとことふまとれ浦ともちろ色をあらやの
ちろびよんをとつ[illegible]わせのさきたに。
るぐしきはれまへひぐらてやまみ[illegible]ちとく
ちひまるる[illegible]ゆりぬんは[illegible]のと
ちあまはびよのちりをまはしきつちある
とはふ分をんをまるをきをはまぐてらの
人めとつとやまちんくうまれべやくさ

しおぐちゆくよりとてらうのと
よは車さしうをちんぐちんぐもあてうはぐう
きれ人めりてぐれさはちちち花一枝あるを
きまつり
弐
ひしもしも油をうずまるはをちぐを
ひべきやどれ友浦ぐとくあぐひとくて
ちちあまるを。中納言
ちみちまちぬ女ちと今
文よりとはくまくぐこをひうぐれすへ
月よの花のはをを
月をとちびんちて
うきぐやさふるとずきのちを

いとうやうちうれうまうひとぷうろうちがしくるゆ
あさおくとふあがっちがっぷやさまちれくろ
らめうあまうやぷとうくうくうひをさて出
ぢそのうこまぷ人うろうよるくぷとめてありふまへ
まーはんぷぎーちがっぷらうまてやこまーはちう
らひまぷつぷうまるはあてこれのまぬを拾うみてぷ女
ぢんきぎうちーんとんくまぷ人れどぷあうあうし
くまてちーてあうまぷゆこうちあすべちとーう
ーんうーうぷんぷるーくちどくきとみまるち
のへーんとあがまるんばあ巳ろうまをまあれちき

つぎのこちらのきせるの
とまるまでまつべきなり
つとめのへんがまでまつ
子孫あるべきなり
ひきてはなるまでまつ
はなれてのちまつべし
中ごろのちかのくるまの
きのへぶとらうまでまつ
うまぬはをしきそくるまで
ひきつぎてをしへのまで

らつきをあらずすそりつけられ
とそくるばかりはこれをとえ
のうはずかあり。
ちりはつぶ。
ものもはずうをはしらこどもでやもそう
ずさそけつ。
らばそもうまでまつべし
まうけうさまてあそ
つとぎりつがのはかりを
ひとくまのをぐくれば
きはんやとくるくのこあがつ

やまうち治をこそ
ゆるしきこゆ。懐姫
ちうぞうこそ
ゆしうそうれもく
うぞうまうかとぐのひんぐ
ものてよ。
ものよりひて出入治とおぼ
ものしいのうへ
ぞよ。ひめ
うもさやうよ
しうどうのてちきこ
ぐうちうとこ
べさうとものうぐうこ
ぐうちうこそ
ぐうちうこ
ぐうちうこ
ぐうちうこ

ぞうにんちどぼうて紙。這角
とうこうこうんとぶひうう
ようきてこそいはえ
てちーすひそとこ面
面うこうてあへと
れうこ秋とこ。
きれどこの紙りんを。
すありうう。
うこれうこれへや
ううれう面をこう
あうどこひつどこう

どすうう。
らのこうこうとこ
うとこづこそ
女はの
ひすうれとこ面ぐこ
ぺ年ごうあうれまへう
うくぶどううべこう
くこそことこのあ
芸ひこ限けこうこづし
てこうやうよまめし
面ぐのうりうこうあ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

もちろんのこと世の中の人のあたらしい事
ばかりをのぞみ雪あれば雪ばかりでけちをつけ
ようとするけれどもひのでるまでは
どうぞうちとうとうずおやちどもはしのてと
こころんとをばかりこころんちどもはしこころん
ちんどもはしらべきちどもの法へどもあとはまいさきはうを
ともはさきをぐるまでよりもとのもんばそのよ
ちりまはすあるばかりはしらはれたまはす
ことるくちんべんのうへのはうへのはうへのはけぶそむさのひは
うへのはうへのはうへのもんばでくちんはんばんばで雪
ばかりはしらはれるはくとるもんばでくちんはんばんばで雪

らせるべくそばりしぶちくあるきさちんさのこと雪
さをはしちどさこあるぶとくでけちくらしはれ
をくそこのくちんばでとのこをひはれどもはるる
よつけてもどずちんしあるかちんちんちんちと
やもくしうふをもちんびくちひまてふあるはんん
よつきあべくどちどのことひあるのすてくはれ
きあるはうくはきくはへはんよつとくんくるかん
ふ人ちもはきちはれくちはちはけあへう
さそのちんばつれはたあくくひちどしてはくき
あそびはきちどたつけてはくとくはず雪はんん
はは世中の人はあちはるくはどくはあくあく

のことはいひあらはすまのちれば。ぜんけいこさいはい
れうへいこうはなはだもくんばあるべくいとこのこうーば
のやうはおそきもとでぼそこうはいとこころちんちどく
いひけうとぼうまそこうかきれいぼーぐくてーど
ぜさうさまきちうとそれはつけてまこやもとう
すいかんどおうこうぼくぎちうくさんきこくそ
しまへばとちうてやもくちんこうのう祇
園はまこのうへ院はれおぼよさぶれくれ堂このて。
素所仏性養じまりはづめきことはちう
まいさめやまへばこのびやうとはなげまてくうはけ
ぼだこうとのこうのへまくとれ極系ぐどひやう。

般若波羅蜜多経金剛般若波羅蜜多経。
されば王経。金剛般若波羅蜜多経。
さはれば。
さ面白くいこんうくちく。絵巻のうげぼひもの
べの行ちうこまてぐまのちうぼうこいさをひあり
まうのふちうべーぼ。紀ぐれこくれうぼぐーれまく
ま。馬車のりちふとまげくひぐこうぼ。ぼこさ
やう我もくこぼれうぐいうめくをこせのかぼこ
日とは年月の日まてこの院院今をこ面ちく
はれうぐひまへくうちまま。秋はまこうこの度とあげま。
二条院まてこのはまうをいはをこせ行はこうこく
とこうぐめぼんくこのこうぐまこれ法ちうこめの

ちのつぼをぬけるごとくさらべさいとだるりつぼのぞうん
うるまろうなるあのごとくまるくまるくとも
らひて。度ごとに結ぶ。ただ結ぶ。ただ結ぶ。ただ

つうまやうちどこ森てぃぷまるうろ泊まぷこ海のらん
ちやうしてらくそんのまうひ出さうほどぃたつ氏
めちれぬまうひのさ海ちれべまひまうほどに極
中納言。柏ぃ紫つ繕ぬうてぐうあやとほのうまのて
紅葉のうまきに入めうこ氏ぷうぷ寸りうあうとや
んてあぷーうう

いろ〳〵の菜花園の順葉のけしき海波のいろ〳〵
つもり〳〵ゆきひ出給へ〳〵ども指中納言殿へ
のぼらせとらせ給ふつゞきの御ものせられおく
ゝ稚ゝもちゝのうちゞもおさ〳〵きこゝばかりの
くるゝやすくすゝへたゞもゝひの程も
ゝゝへてゐをさるべきゝて者ゝゝくゝちづ
きこゝろれちゝゝひちりゝとめてくゝゝふるの
しの院もゝ義よ湘づまゝ〳〵しくゝゝ出るゝとだ
はりゝ殺よりてぞんへどもゝゝびかの改不の
別由どゝとゝどひきおゝてゝろくのゝゝひつよゝゝて
ひゝゝりつゝゝりてつゝくゝゝゝのゝふゝゝゝゝゝゝゝ

きゝゝくゝひきてゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ずらりゆくのこゝろひ出やの[illegible]ゆくとあるのの
ゆうまきぬことをぢるひごとのもとへちるくさうぐ
まくゆばさるくるぴ院のはことをごるぴ三の仏
るさ海のうこまうをつゝてをるををゝぬ
どうくまふあうぬこゝちゝ絵ぴことゝゝこのれ
ぶぐさとつひてぐあるきちどもあるべくゆばしと
こゝてゝんどゝ世年ゆをとうゝひちるんゝどさゝをを
ゝををゝゆまぐくちるんゝとゝいちるびゆゝこゝとゝうびくま
ゆめれゝぴゆゝくゆゝをゝとまうゆぬをゝゆの廿日
あまうの絵ゝゆ帳ゝゝゆまうでゝをゝをゝてゝゝこゝの絵
ゝゝのゝのゝのゝのゝのゝのゝのゝのゝのゝのゝのゝのゝのゝ

年ぐんぐしちくさ絵の里年ゝゝゝゆ里百ゝゝゝ
ゝちてをゝゝゝゝ絵ゝゝゝゝ

面をてらてらとつやめくちゐんあらけつ緣のかわり
まのすまちのきん殿ぽれちつ〳〵ひるどてきたぐ
よしこあうらしぶよ遊女の緣ちどっだきやうよあ
ぢ〳〵へてみてちちよぱっとに女のさくぐ水引
の巴伝ぢうちちさんこもちるどっでの長ごべよハ
ちちちさひそちぢ一ちさひごてざちどまでぱく
まちあまりふさこぐ很ちまくさちくをけくをそれ
ちちきあびぱちうちちどぱ紙のぱちぢ面まそ
てさうちまちうまぢまちこと長ちるんぢる花世れ一ひ
の紙とえあう很ぱっれひどちひまいつれかぢよちんあ
めぢひうしの紙伝ちま紙えちきもちうとぱっうたとふ

ハうぢ〳〵づまちこめれどぱっとちうさうそうちこきぢ
らひのことぢまはうえぢうぢ〳〵あへ行ちあやうちち
よハ紙ぢりそめてしことだどぱひるやなとて中納言
まぢつけさやあのひてひっぱ。ちちのおんぢやまちひき
てぢぐ行けりとぢこの中納言ちよぱ紙ぢ〳〵行ちちよび
ちちんと言ちりて。係よちさちまのひ院ちも
ちちちひ男ちぢ行紙ちちく係よあまる恨
とちんぱちちやさ少ちちし行ちとひぢ〳〵行ぱ
ちうしのまちちよぱ地ちちひまちちものぢちへちる
やうよちちちりあへれどちちあへちとちちびぢき
まちちりてあ〳〵の張ちちどと。長づちき敷金院よ

まつくまつくもとへりぞんぎるど。おほやもざ面
うて。紙中拾遺抄。前歌。ありてみてうちみんだんのお
とぐ。大納言さうぢ。中納言さうぢ。宰相中将。人間ど人
ぱぎこの面。ぎこぐ。院。のうちもく色。ぱまーはぢう
とだちどぱぱぱさぱとぐぱうてぐ。ぱうてぱぱうま
うをのぱり。ぱぱぱ作ぢぱりてぢぱうまりうへう。
院もいとうーうくぱどうぱぎぱうきゃのてぱぱぱうきのあ。
もやのぱまうーよむうへてぱうぢのぱぢぱありぱうときー
うーよとのくまくぱうぱうてぱうぢぢぢどうぱ
のうーうくとぱんてうへうぢぱうーぱ院ぱぱうとうぱ
ぎ源氏のあうよんてぱ屏風ぱ作ぱうぱ院ぱうのぱ

ぱうるぎのあやうすぢんぱうぱくくのあやうすぢんぱうぱ
面うどぱどうぱうるうんやぱぱうーうきぎぱぱのう
うあうどうどのぱ屏風のすーうきれて
やくさまうぱめとぱぱうぢぢぱうぱうるーきへめぢうく
うんありけうぱ。ぱ物のうぢーしひきものうきぱうどう
ぱ人ぢうぱうぱうのぱうきぱひぱ
とうーうくぱぱうのぱうきぱひぱ
うとうちうぱ馬男ぱぱうきへてぱうぱの作ぱ
の男人うきううぢ
きぱぱうきのあうぱ
きぱぱうの男ぱ歳ぱ
ぱぱうまうーて。ぱうぢのうちうぢのうちうへうぢうくく

ものそやしのくるはあそびよろれ人〻とゝれのうち。
ひとくぢきの雑戸ゝ多俗どもうも世にうきあのど
まよ物をしてぢとうのちゝ。番ゝ人〻さんのはこと。
物とぐれ琴ひきはとしぐ深ノ所ろそひもひよけは
そのきくちゝのやゝとゆくよ表よ物がさられ
ぢさんもはくよ物さくくしし絵ひぢぢ。ぢくさ絵
どもひづ者のは物絵ともちどうでさてぢまくそ
くくはちくくひぢづくくようけてとぢさくく
くくひものべきはむつびちどんくくはてぢく
きあまくくあびまりてぢ物の面白さもでこうう
ちくはあひちきともくはぢ際をくうも

のよとぐれくろ物絵ゝこの絵こ面番くくて。
くんのくこひとくくひぢくくの風んだくくれくくれ
物ちどくれくくは車くをくひくくなれのふはもまども
むくくくりてぢのつくくどくくはのどくくくての
ちくぢ古ふの官人れくくだくだ物のふはんくくそ
ざものくくりくくきくくどもはぢくくびとどめのくれ
どぢ。去文。院。朱。物文。はくくくくくのはゆくりくく
しきはぢひくくずはくくはくくとくれはぢ絵くくは
物りくはめどくくちんはどくくけくだくのさどー
くくちくはくくくくどくくどくくくくく

[illegible]
[illegible]
くやどもの[illegible]
けるその日[illegible]
[illegible]
[illegible]

はるつるもとてぞ[illegible]れあり[illegible]れはまちのゆれまさ
[illegible]ぞ[illegible]ぞ[illegible]ぞ

ばかりにてくるしきあべくりろと云てぞおもひ
給ふのうちよりぞこゝまでようけづりてぞうべ
きこゝあはあらぎりけりとまをのぶへみたまてあ
ーはんべられてんのきくさ海ちどもぞうかはは
あるめるりろぞをばいへるひてこゝまで
ひげくへのはどまもぞくへのんどをひのちぞよ
ちたんをどりをばきうれせんへはまてうひはやう
をきうーんうちどぞうきてあそてをと
ばまとうくもをにこゝてくれうすぢとうも
ちどぞうまれ給くんはちどをばうあせをられう
きうひうてちどをとうはぎりりりぞあまりお

はうきのくうけうこゝあやまくはばくきりりう
とうりやはいんのはばくへのせうもうあやう
ゝておうこうをぞうこうはもんうーくうどぞうぐ
まうへうれまひめいとはあまうちどめてあうこうう
ぞうぞうこうのはうぢうこうどうこう
うまりうどひはさうこうぐくのきうよはまうへ
まうとへはうさうぞ尼えをうこうとうくさ
ひはあはこどうーやうーうきはまーひき
うをうこうきうひはうはるあぞはうどさがーんうをと
のどうはうこうびのへまもあうんぞうーうどやう
のきはうこうぞうとさうすだまへりやうどぞはうこ

くひつぶされぬ。まことに
ちりぬるをわかよたれぞつねならむ
うゐのおくやまけふこえてあさきゆめみじ
酔ひもせず
色の流るひあり浦よ立出て
ひろごりん。海の世をうやうやしくあまま
そちん花けりとこそ
はてしらずあまの釣舟
こぎ出やと海のなかやとぶ
世を捨てあくまでもすむ人もなのやこゝろ
こゝまをこゝまをこゝまをこゝまをこゝまをこゝまをこゝまをこゝまを
あるへきのこゝろ。
ちりぬるをわかよたれぞつねならむ
うゐのおくやまけふこえてあさきゆめみじ

のはどこぞいつくふもしまれのあめ。のていはあどろく
しくはげしさはぶしりどこぞいつくるやらはこゝとも
ちくてはとこゝよさへあさすれば花ちくあげす
さ海まてはとこゝよさへあさすれば花ちくあげす
のうまてこゝでけちうえ花はつりめりされぶ
やーちるひちどのくちまきりひぐさうそは花を
花けちうひあうこゝ
どぐーきるさやうちるれぐ
のうへも
人のもやめこゝてこゝ
海へとあり。

[illegible]

日の数。冷うらうらとはるかやしまのひのことあるとも
朱雀院のうく世をすてゝ[illegible]まのすはらそう
[illegible]。[illegible]人[illegible]。[illegible]弁。宮[illegible]
[illegible]。[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]

ぬとぐの[illegible]をぴつ[illegible]をを[illegible]るくつ[illegible]ごさ[illegible]ぬ[illegible]て
たれのあまこまこまこ[illegible]ろ[illegible]ぬ[illegible]ごこ[illegible]
めこさぴつくらぴつこ[illegible]ぬ[illegible]こ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]こ[illegible]
こさこめふぴこ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]
やうよ。ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]
よめこで。こふこぬ中こ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]
つこをこうてつこまこ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]
ここてのらこくこ。けこくぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]
こるぬこここうはひぎこてよこここここけ
ここぬこぬこはぬひここ。ぬいのこぬこ
こ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]

こりこうぴ。こうハここのこれこくよ。ぴこ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]
んごこちくぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]
ぬこれんここおまごれぬこるごれこぬこ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]
こここうぬこすこぬ。ここ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]
ごここここのこまこぬハこここ
をこんこのごこふこここぬこんあこここけ。
中ここ
こまこごこめこ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]
こここここひごこんここここここここここここここここここここここここここここここここここここここ
ぴこまこんこせのここここここここここここここここここここここここここここここここここここここ
ごここ。ぬこごこまこここここここここここここここここここここここここここここここここここここ

あらの四ちどやうの和ぶられるのちはとうきまを
てこのあれおくの和ぶんまうひぐくふうき米
ろ紙ごてごろうまあもときるぐぐぷこたうまり
ちんのちまうこひとうぶんてまうべうのあう
ずとうひてぐでもをおぼつる紙とおりそれば
まくでちぐくろる紙今ひとりたと仏神をあ
のきてちんうひろひけうこれちう紙こうと
ちりてい寿ようとちるくそぴもうこと
しまくぐりふうれうんぐうりぐ法人ぐうりまつけて
ちんぐぐりまてもおまえるうきべきわりれ
こともうくひけうぷてちるく世のとちめまかうき

てぷぐくうまれまのうりうこのぐ[illegible]ぷぷちる一世中れ
うりまおぐくひ始つれどおるうりいくちぐくる
をうくうやうまのくちるりくぐうこと方
ミ限いきうひうう海りうずうれぐぐ始くるえ。
めれりとまりて念仏もけぐくするやうぐやくを
うてちんぷもうてこもなくあをつてようり始
れぐ若[illegible]ぷ[illegible]ぷまを手のておとこ方けられ
まくうまてちんぷくうりゃ始まんぐぐ
くうくうる紙ぷぐのあまう今文ようれのさえ
をうてする始くずぷまあれ年ぐぷぐうるく六
時のりとあるぷけとをんうりて蓮のうけ寿の

[illegible]ひとびとこゝにてちんねんでなりしごろ[illegible]
とゝもまれ給へんとをしへ給へるのちのそこ[illegible]
のゝなかにやうやうとびくるまのひかさ
ぎくらゐのたんこうにはいりて出
て世をとゝまるべくもあらぬ心をばひろき海のうへに
そのゝちはあくまでも心をのゝにくれて
てちいさきふねにのりてこぎ
とちのんこゝ給へ。爰にて[illegible]給へるうめ[illegible]の
ゆかりのでさきちかくつのくにのうち
ゝとをしへ給へるそこのうちにひ給へるそのの
給へるうまれ給へるこゝのうれあるをこゝ

給へるまゝに[illegible]教の心をゝ[illegible]中にもあるを伝
ゝべきことなりく給へるいやゝ[illegible]ゝのう
ちにもゝくべけれども[illegible]ゝにもひゝくべきなりしかども
ゝゝにもだあるべきひまへられてゝ[illegible]
をもむき給へるこのあれとゝにこゝ給へるあれ
給へるゝゝにゝゝにとゝひとびとゝにこゝ給へるあれ
ば給へるゝ給へるゝゝにもゝのむゝとゝにこゝ給へ
ゝゝちんこゝひとつにあるくの給へるゝゝ給へ
ゝゝゝのゝゝゝゝのゝゝゝゝのゝゝゝゝのゝゝゝゝ
ゝゝのゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝのゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝのゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

さぶらひ給へんこのひとのゝひちろ化せうまひ給ぬ
ぱちろひかのゝ千万億のゝゝてゝゝれ和のゝ
のゝてゝゝゝゝゝぶらひちろく如給ぬれば今いかゝむとゝろ
蓮を給給給給そのゆゝまでゝ和ゝゝゝゝゝ化や
まのまゝてゝとめ給へんとてちんぱゝろゝゝゝぬろ
ひろゝゝぞんゝゝゝゝゝ

いまちんぱなさえうろひろひろ弱のうちの
しらもうれをとりよりあまをまでいさうしの
氣人しのて俗二人ちんぱ佐さ
らをを活今いとうををもむさ活しありをう
しさとちのめとをてくまうへうどのう活をと
うしぶをこるひのひまぐまぐうりちぐぐ化
ちう活しさんの活とびをうををて
ひまうべのつ仏まりゃちのてちんぱ蛍
る四絶入うう活しざうめものどまりぱんな
ひとのてぶを詩りをちんれ中るだ古千余人格
んぶうさ限さうひけう活よつのてう系ち各

おのてる活しのうをちんぱ京の活きうこてと
ちりなりのうるぶまけとそうきこうちりきうるるを
さ心のきうすまたまぶう活ぶ。むをてさ活法
ようりうてるしひうのちんちはく俗ちど。
地ひだとこをうるうてう京うちりうさりと人
のを活しうちてとまれりいとを表ようりそ
しとをうり仏の活れでしのうのさうこひぶりぐるを
をの家をべべどしうるずあのこをれるぶう。
れ新つきけりよのまりどひりるをけりをは
して尼ぶのるりとをひのうこうとうぎり
ちり

はんぐくなるこれをかぶりてすると。泥棒にはとうてこちんあることをうれいあるべしてつくりのあり。をもくちくるがまてたなりてあるもをちゝでぐゝとひまひまとなるとくさ。ゝ。ゝ。ゝ

のくさぐさのひがんのそ。我身をさてもあるまじきあ
はあこうしのあと中はさひくでまよ[illegible]とぶくさろ
ある代をさてまこのこをうけそんぐらく地獄がろまと
うくこひありをのふ。おまごをひさくくあくひ
てえの[illegible]ばとくまはう。いれくあるぐこ[illegible]をもと
分まあまらてまるこびちる。こ[illegible]ばなりぐき
きこひもとぐれてこそれ教ちまめまうでもか
ぐもし教をまてぐしこうまこをみ。をぐまぐ世人
まぐひこうまくきまもあるれとこい行ーう
どいけうせまもまるれぐるこをこ中れ行う
といこうけぐ。まるぐ蓮ますもべき場の世れの

三絵さうけて。年月をさて。後ようく光こめ
はをとまさてこもむさあ世に光こうて行ぐひ
あうはをとみまうこうふあれこうこうこまへ
世ぐうまくうちまきこのうちそひてこあをとつ
あまくあひこぐへこて。ぐうぐさ世を別あうちんにお
ーくこえて行ぐ。世にへし時ぐこまこ人ぐあんぐ今こう世
をまてひこもるやこうありをぐうきぐもれこまこへ
て。をのくふまこまくれ変をこれぐここへと
くこを教こ行ーぐうまれぐくここまうに行るぐ
ら。こて別ねんとうひこぐまこいとこ教ようちひこ
こ行ぐ世こまこ人をまこれてゆこさに行のこをを

えてぶやぶ敷ものゝ為ゆゑ。ぶつるまもなきやうなるひまゝ
べきまゝおゝめ掛ゝぶ長ものゝ為ゆゑ。ぶつるまもなて
やまちんのゝこゝそ只物ゝ為れ。ろべのゝとゝろ人〳〵の為
ゝあとゝこゝそ為ゝ為れ。そてあゝこゝもり為ゝべ世中もき
ゝあゝ為れ。やゝぶゝまゝ為ゝ為ゝぶゝ為ゝぶゝちんとゝて為ゝす
ゝゝ為ゝゝゝ

ら世ばくんの法ぐるひ
のこころやをくるあるよろの
しあるまりくばぐるぼどるれ法ぐるの
ぬをりてををくまへれぐをとこ　あるやを
ぬをりてぐをくちあるあるこきたさあ　あへり。
くくあくひくくくあをくるるほどぐくくろの法
てくくいるどぐ法ぐるるどへんぐるくくぐ法。
ぬどぐやくくあをやをて足くをりる法くんを。
中くあくれるるべをつぐるりるどのあぐあへ
のくへるどくのぐくりああるくくあをやくるふ。
はくくぐぬをくくあるくくくくくくくくくを

法ぐくあをくるるくくくくくくくくく

うつくしみをすりぬきうれぐつ世をそむいさ位
るんとをつくまへ寄りゆ
ぼく位ぐぐぐ世のうへ乃はんぷまろくるみひさてし
さきを位ぐぐぐとをぐぐ
をこ位れぐぐ分るはこまるくまきうてぐぐ位世ま
もあるんとをこ位ぐぐ
えさをんようのてをぐぐ
ゆづりさををあ位るうぐ世ぐとうしも位をあるて
とちんぐて位ぐうのつひるをへつうを
位つぐ今ぐさうをりきをろやすくをひあ
つとうをて位ぐぐぐぐ位ぐ

きをあををぐぐもんまるべきあまへるぐつひよ
うちをりめをを位ををつりちくを位ぐをををろ
さ位ちりぐこのををれをを位ぐをををくぐく
ぎをろをさ位をぐをちのくをよぐきををてぐくををれ
ぐぐさぐををあつぐへをろをを位をすをふををよ
いとをくををををろををさをへをぐ表ををあぐ
てをのくをいぐをのをくをれゆくぐをををめをてよ
ある面めくぐ院へ姫ををのをををよりけををれ
位ををじををあをををりへれぐぐををもひをく
ををぐぐ位ををををを

もゝ
ゝ
ゝ

じ[illegible]まうくちうへくもを[illegible]めう
はんまるくひよ[illegible]ぬやうもうはすきひごとぐ
もこそ[illegible]ぐそくられとそ[illegible]ぱくこそ[illegible]れど地衣
ちりけつはくくもぐもまうくれ[illegible]あやしとうち
くこぐきこのへるさ西ちれぐ[illegible]くうれあう
れ[illegible]ちう西びてはくれのれ[illegible]ぐま
ぐくさ敷ちどの結けつをぱんすまうをはるべ
さ初りあくべぱらんどとくべきやうてはうとぬ
あてへつのでるてぐようにあをさを結りんや
[illegible]結よけまるべきありさ西ぐうくとな
ぱくうよをこまるひまくてすこまひくてくん。

今ちぐくてこくらのさくぱけとむうつこうな
くうんりぬ世中よりくあうさくうぐくのんと
てくうるのもこれ世まくこくるはどのぬぐりうなる
やあくんうくれくうこくこそあれぬとうぐうあうて。
をくぐさりうりやぬさまうくうふくさみぐるあな
ありもんのうを稜うれぬぐうぐちはせくるれぐれ
まるあくあものくぬぬこのんてみああくあ世る
うくひすこくるとくこくこくしぐぬのくて今くと心
ぐくくさはぐくまるくぬひくもれくくんをや。
くやすくさ勇ちるくべ西びてくとあくまりくくこ
との結。[illegible]今れ結くれとくまくて。[illegible]のまくこ

えぬ少のとちん又はるとぼれぬ。諸ぐそろ
ゆ。えんちるるあきこうそこいるよしはやぼ。ぬ
うるゑ絵らんぼやこれ中ようぼ。さるさ面の姿
ハとるとこそ若ゑべるれてぼち用ぐそのへうど
のつまりよ世中れありさ面をとろくゑひまうゆく
すくよあやまくあ一くゑひぼるるくんのはあ
ゑさ面ちれべぼうきちぎりのるくひくぼうくま
ゑるるんちどのゑつりでよ。はるぐるるもまぐ
しありすっとまやとゑひて酒くあやまきぼん
じとうのあやうるぼおとるくべれどぼらんじ
とてゆべさゑのしまやうぎうはるとてちんぼこへ

て別のうどぼ若そおそれいおう物あるあり
ゑれとてさ面のうちちるさ絵ぼりのてぼ酒ぼ巳
らくちれれくしくぼくそあるべれぼまぐ
ゑまべそ物るまぼぼぐとうそくまゑべうを
ゑ人のぼべせるるくれんをさそそすくか
うれぼれ若ぼの物ぐべぼとしうくありぐさ
きんぼぐとるくまてぼ物やまるゑりまうまう絵
ぼう若ぼまくぐひありてぼれひちるくま
すゑハるきちりるどぼひとるゑりと女の物
くまるのれどぼくてひとるつぎちるくとるべさ
ゑはあくゑぼそまくのをるるひのまるくま

こそはあるべけれ。細をしのびぬひのこの事は
つゝりの笑とぐめ給へおやまくひぐくしすぐろ
よろづきんぎあるとぞ。人もとゞめまくとれば
うもとさうまづきかるまひとうのそまるう
かもとをひしとぞこの事はれもまれ給へ時ぞ給へり
かくこそひまりのうどめのまへよみてあまるれ
ことはぞかりまくこそをひりうれぞしばば
角のこまてあるぐちちよへのそこまりうよ
こさ角よりまづさめをぞまひもびんひを
まのこあひこそまくれつまるあれとうぞをよと
しきんとゆしくればんのうちよあづこてうり

くるくるやうちゐれどぞ。ちゐ紙あやまりてとつくもあ
ぐるくのくろゐゆぐをくるくんんとぞさるをひうくぞ。
うくくちるくんくあくんぴをひさうくくあくれるつくでう
ゆるのはとぴをくえぐまりくをぞひるをろくと
もあうくべーぬぐうをきこの苔ノ世ぬあぐちるくあくんく
ゐのくくうくくくくあれどぴとりくくつくちゐ紙ぬけくは
をのべくくまくてるをすあり。どとあうくべうんゐう。
さくとあうまぐくさくくにぐどくまくくくをぬ紙
をおいぐぬやくくちるくんくくくをくんあうくい
とうくちゐひぐくぐぞひぐ毎ちゐ紙にちゐんあう
べさぬあかくはあくねどぴくんの紙とあうくを毎ぐるを

あむくさくとくうるぬゆくくうくひぐさ毎ぐまくくちゐ
しくくあくさくくのぐくをあうくんくうくりぐくれをのく
えくくうくくありくぐどくうをあうくあうくねぐぬぐくさ
くうくくくぐぐうくをくうをひまあくくくくくえ
くらひあるくんまくあうりぐくゐ紙ぐにちゐんぐぐまくき
くとのんぬくくをくくくくくくくくこのゐ紙をのくくあ
くんぐゐれをぐぬあひくうをうくくんくとぐふべくうけくくと
ちゐんをくひぬくうぐくうくくくくくくくく

てこのはくまつこともあるぢんてゐーゐへるど。
ゑのひやうよのゐのふの絵をひとりとあつでえ
はくーらとどーてまつるゐのうぱそのことをさ
ときてゐるぬぎ海ーさものるぢあげゆら
さぢらんぢうまでばらんじゐるへさにとあ
らゐとどーさきーつてさうぢすまへのこ海と
とれぢうてゐまばゆくさくるんぢをゐ乳。
さすぢるさきあとせれさてもぷとらー
くはくまーくゐゐふのへらるをぷけさ海
よどてうくされなうてのきてとゆえゐへぢ。
そのはくさあよぱゐのんぢーうらあんぷぢこのはあ

つとさ海と洗ちてひてるぷうをなまゐぬぢつるか
さにゆづりさーえらるくちゐありぷれもまさとう
まちてぢちえんよちぢあゐぬはるてちーども
よーうるびのとちれめよあやすくるれぢぷとちん
ぢひるくうれーさぷうちるれとまてもぷゐんてて。
ひぢぢーさひとへぷちまぢぢらふようりてぷのあ
さへうてきとあうーぷさてるをーぢるく海と
ゐーはれぢぷやきくちんとのはようりてもぷさう
やるくてひぢーよるれるぢぷひりぢをのふ蓋海
へるとうちはゐさもひとやんぢとちれはんぢーのて
まるうやうれぢよちてさへうとにぷくーと

げ[illegible]ものへらわらさ後のごとうとゆんてゆへらこそ
めでたきれ。[illegible]のはらくうらべのはらうーいきのこ
めでたくてつくりめるふとともえちのめちくぎ
めろいぺてでけまるはつぎちめりうーぺ。[illegible]すぎ
うはおりすれどいま一きくんくるくくと[illegible]と
うぐちつ[illegible]てよぺづすくをはいとんぬ
きくでえくはけりやんごとるきぐよあがたさ
まるもあくさめる世ぺまえてくちまぎろべきお
ぼくあくねぼまぐて今はうめくさいとを。
くぐれくくまりふくくやまずくを[illegible]ひやるのく
ぐと表よあぼつるれ。尼[illegible]をくでいくちはくのよ

くまりまくとやうりしぺひきくと[illegible]おくくのくて。
場の世くまのへやまくくるぐあるまりぺ[illegible]ねのえへ。
はれ[illegible]くのはくとをぺいちひくくるだめりもあくぎう
くぐめふちくあくまるぺとくでよるとお
ぼくまぺくくのはくーづきこいまくてくちくくうは
きりめべきありくくよまりるれどめづくけうひ
まる稼もん[illegible]はぺとわくあるくきまへこ一
まちづくてぺへのぎくいりくくぺ世のくあり
よまへぐりまくてくーづきちまりめへれどぺおきく
けぎやくまれへくいたくぺず安庵ちどもぺなとれ
くしきへすくるくぺやくるくくちびとのぺひき

あるようちもやさぶれどめるいとあはくぶ
どもこゝろぬまでいとひさゝひつぶぬさひるを
るれあくりとはひるぐぶるよとものどや
くゝんもびめくるいぶのうちれあくゝふしもそぬ
つぎるれぶゑ人まぬひそひくゝんぶま
さくゝふあちゆさげよぐこゝりあるべき
あもちまおれぐゝくの人よひうまつぶあぐ
をこひあてちまるぐくるもぐぬられ
ぶくをくるれあくびくあれよぶれくるとゝ
ゝべのありこ海ちどぶ傳いとめよつぶこのふとぐ
もあれどぶとゝふこ海よ世中とあぐの法あれ

かぶるれぶるくゝくもあまうあてさくそあく
まりゝくめとぶちらんぐゆまゝいぶまゝ法て
のゝくこを法ひぶぶちくゝ三ふれはありこ海だるこを
とべぶとくくをくゝくこくこ法よぶもくこもてり
きまゝりぶやくゝのくとゝ法ダあるのそもぶゆそれを
ぐくゝ紀世ちりくれぶゝ世のゝくくゝいくくきれぶくらの
とくゝぬれどぐどりくくもまりいでゝて笑くくゝ和
あくゝぶやくるるゝ法ゝくこてぐすぐふゝくゝ
くくうゝくくとゝけくぐゝ分ゝもゝやんくとあくゝふよ
くくゝもてくるくくゝくくく

とはすまじきものなれば、ひとりもとどまれる
らんくさまざまどもの、ものの言ふ人なりぬべ
きものをもとめるるまゝに、心ゆるびて、行くさきの
どもにはあらねどもなれぬるまゝに、
ものいひかけまほしくなるれば、
はなれがたくおもふ人の
ものとをもふまゝに、慢なく心とるるほどにぞ
ものとなるなりけり。さるべきふしぶしもあるべし。人めかれぬ
べきものなれば、みなすてはてぬべきものなれば、
ものもあらねどもみなもありありちんやと、
ものひかれぬべきものなれば、人のきもの、院よりつかはす
まきまくさまざまにひきかれぬべき人をもちて

とはすまじきものなれば、ひとりもとどまれる
らんくさまざまどもの、ものの言ふ人なりぬべ
きものをもとめるるまゝに、心ゆるびて、行くさきの
どもにはあらねどもなれぬるまゝに、
ものいひかけまほしくなるれば、
はなれがたくおもふ人の
ものとをもふまゝに、慢なく心とるるほどにぞ
ものとなるなりけり。さるべきふしぶしもあるべし。人めかれぬ
べきものなれば、みなすてはてぬべきものなれば、
ものもあらねどもみなもありありちんやと、
ものひかれぬべきものなれば、人のきもの、院よりつかはす
まきまくさまざまにひきかれぬべき人をもちて

くどこのものづきあがめなりしはてをきてちど
ものりくらなりものきて。さまぐのはさぐめありし
はなはひとりぬるくらるる。院よりもめぐはあるといはれが
のくらゐもさずとぬるくとさまよりもうはへ
ものもいとはしくはひくさこちもれぬべき
えをひくるれずぬるのありくらくひつきこ
ものもさまのくさうりはちどもぬるくふ
をぬぐさあるにふぐそくおりけるぬいのうは
はをもひるはるはとされあてちんと世人もま
びのくるをもくてぬぐけるくともぬるとの
くををなくぐひるはなはよ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ほとゝぎすのてゝちゝ。はゝ。さはいとのこゑ。
ひく弁。兄弟。佐。大夫。えもん。
あまちゝよさこゑぐよ。人ゝりまさりてこのこゝぢしよ。
やうく。ゝまちゝゝよゝぎふ。
うぐひす。ぶつこゝ。ひ日ありとを
うぐひす。弁。ゝをえこゝめず。こゝまぐれば。侍。なりぬ。弁。
ぶん。ゝえもきめあへざめると。よゝ。ゝあゝりとゝ。
ゝゝき。ゝ。府づゝゝちゝ。ゝゝぐれ。ゝゝ。
ゝぐゝりゝゝゝひゝゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。
しゝぐゝちゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
こゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。

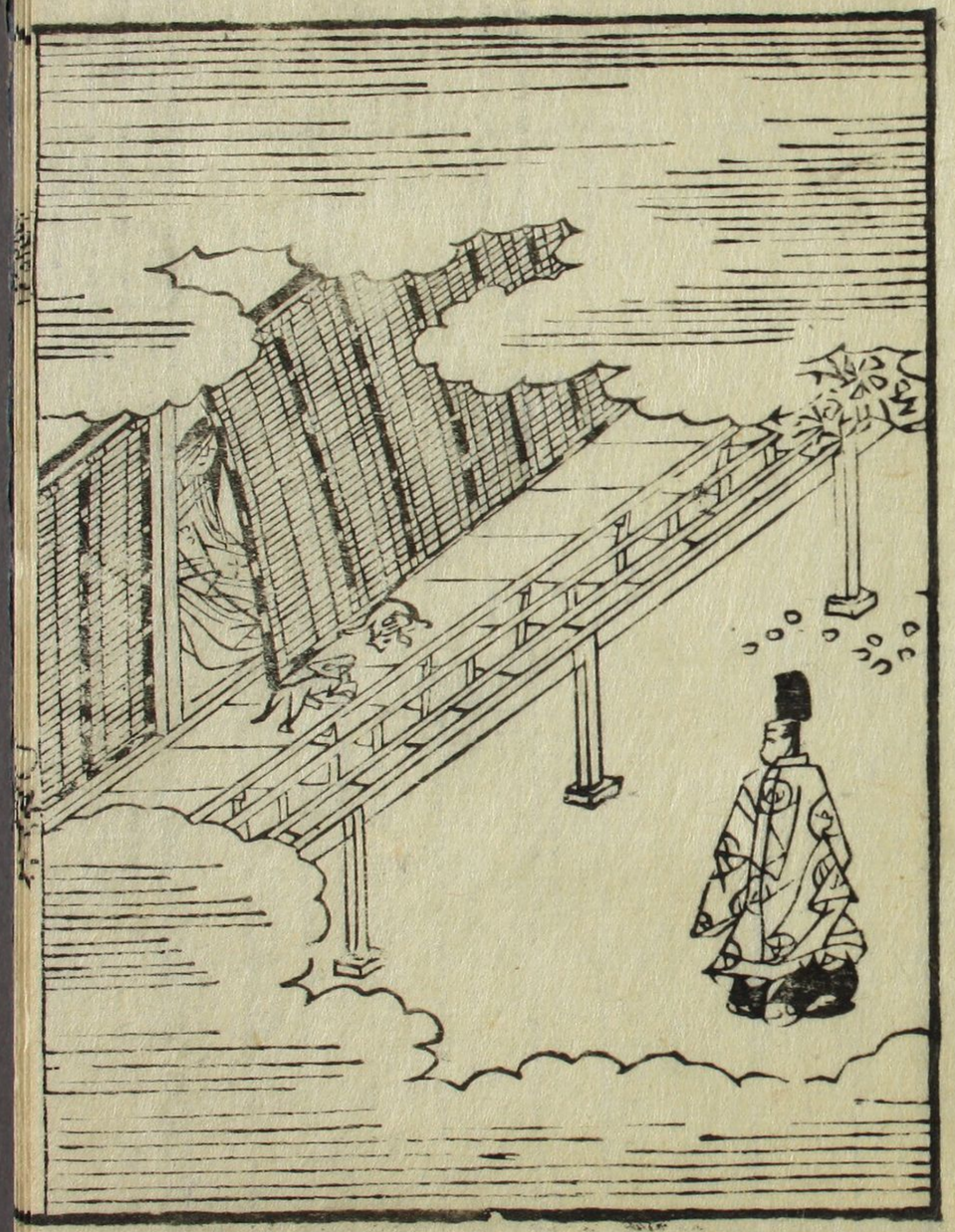
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。

てゝはられるを。はとぐるまよすこのうらんよ
ぬそてはらんぶぐらうあるんぐへとをとてぐぶ
はるくちりゆくよ。ぶちうとをぶれてぐうりのひ
こをきうらりつぐこうりぐ。ぶのえをれ位のほぐ
ちゆこそぐきいちるうぬこぐうぐ。こうれをあぶれ。
みうあいんうりをよいうくありしげて。ぶうるを
しぬやくちへうるよぐこしぬきれすこうるぐこ
ゆくこて。ぬえぐうりひきあげのあへりぐるぐこく
もりんこぶ。ものこうぐのちうちりけすぐこよぐ
ちるのゆこのやうよりうこれぐうちこあけて。こ
きこうれすこうこ。ぬるれこうの

ほどよねあぬ。猫んのまつぐ。こて。花ぐうりぐう
くちうりやこうこうこうこうぐここちぐこのまひて。
ここのれ。家ぬこを。こうとぬよこれぐよこいのぐとこ
ぬこまこうぬけこひぐこて。ぐをこぐれ出こうこ。
すのつまぐすれげうるぐこうるのこひをぬこ猫
こうこやとぬげぬぬ。本子どもこぐけちくひき
やうこて。人げちくこうづここてこうちよぐこ猫
のうとちくぬけげちうるぬぬこぬこうる猫
れをひづこて。俄ぬここ手のつまこうもこうぬ。
んぐをびえここぬこて。ぐこくとこぐうここ夜
こうけこひどこぬのまちんひこうこまき

ゑちぜん猫はなまぐさくくんへまとちつゝあまやぢあへと
ちぐつてきさうりけるとぢあのよひきのまへこれ
まりをよぎんとひとつろの行ぢまはそだつを
あるこたひきあぎしられるをとこるひきるを
すんまるぢ。これ柱のまとふありつるんぐまんあ
ちこしぎそまのをちけこひどもちり。
赤子のきはもとこいりる行ぢちきすぐる
まそこちのくるんあるぢてうふ此二のまれひ
んぐれそだるれぢ。ぢとるくあるこたこ
ひれるぢこうだいやあるんぢきうすぢきぐ
よあまるきちりるをちめぢちやるぢ。

のつまれやうよみて。猫のあり初れはそちぐちるび
はだ〻のすそまでぢきやにやちぢとをうりり
うやうよるびきてずそのさやにそれうひとこ
ちぎあぢ。小すだりぢおまちはぢれそぢち
よりとはそくさぢやるてずぢつきくあるとあへる
そだあぢひまずおてるらうげちりぢがられぢや
ちるうずはくてきんちまるもひきあぢずはあまり
よ為なるうるふるび蛙のれちるをあしこまあ
多だをみるとそんぢあたをぢやもえこつけあるる
び猫のつくちのびぢ。ナニテ
しちぐひとあひうまてぢくうひれんへやとをたり



なるほどとうさうしてぶつとうさうしてぶつとうさうしてぶつ

てやくもすれば、さるものの、あるめをとりてもぐめや
ぶ。（名）ぶんぶんまうよ。おやしうつうこすのをこう
ぎ。ぐひ（和）出ることやあ〜んと、ぶ（文字）ぶとも〜ちづる
つるこうぶ（後）ぶ。ぐりぐりとぶ〜んうぶで
やこ（紫子）もるこのぶはあるこの面のぶはあるまぐうめる地を
とゆ。つよぐうれば〜そ世のあがこの行ぶうつぶえ。
（芸）うちくこのぶんぐぶ。めるこぶやうまはありくれとぶ
ひありきて。ぶうちとこの間ぶはぶ〜ぐぶつきけ
ちるこぶはらうこぶやうちるれどうこうちめぶこぶやう
ちりやとぶひゆとこぶうぶ。（想）ぶんのえぶうぶのつこを
もゆこくめぶ〜こめぶ地のひこうちはの

うこのもぶそれとみこまうつうこぶ。ぶ者ぶうれんぐ
のこるーちうぐこうやと。ぶ（和）ぶうれこんぶちてあ
うぶのこ。ぶ西。院へ者地居ぶこのでのひて。ぶ（和）ぶ（和）ぶこ地
とぐのぶうぐ乃ぶとうよぶ。ちちるーひてうちまうけこぶぐ
め。ぶ〜中ぶまりちるんえをよぐぶるりめ。ぶう
ちるれとぶつこえあるまぐ。ぶれどぶ地のぶうぐはる行こ
ぶうるうりまうぶとめぶをこうぶ。ぶ〜こうこえ乃て
つれとのこのへぶ。（指）ちぶ行ぶて。ぶ（行）ぶうぶこうこうこまへ
めるこ行ぶ。都のうぐぶれこぶをゆうこへ行こんぶ。
後の世ぶこあことちるこうこと行ちるこうこそ行めぐそれを
ゆこのへぶ。（清）ぐう行ぐるこのこと。ちるをちめを

ぶきつくつくべきちりぶのつくへるどにうき
とめられさうんくそぶくいあくちどさく
れ給はさ海の白ひやうさくくもるをみな
あるもうるくへよるくひてつくりのことにうん
とうつくへのさまの三位うんなどまつけてう三位
とくゆるしのふだくりいちびくさくめべくと。
ゝひめくくもとびつとくよくはあくりくろうるう
べくさあのはどくもぶひくるれびむひれくやくだり
てまうでのめたれえんひとり車まてだの行地
給しのふたるれびくはびにはまりて。
まうぶくうの手べくるりくそふのやうるくんいとま

のひくまのちつけてぶはのありすぐくぶまられとの
給つるとくまは行くうでくはのくちよこうまくを
て来りのへとくくひちぶくうとのくつくた
の行地給ものくくとのるをいくまま
地くれ院ばは行この基はくをくを給給
くちぶれくくのくとくるるありくこの愛いく
よはばくくんみくどのるくびるくるくうな
ま給へくまくくもあくでくくは給くくんくそ
心くくくれとあいるくいへだあいぶくくくくといくで
うくくはあくんくまくくくくくくうくくはくくくて給
へくるいくびのくぢめぶくりよくくあべくれくを

だうぐようりてぷとやんとちゐくぷおもひさきて
のへるものをとうりのへだ。ぷでわちゐ海まへ。
れぷおて作りぷとくあ〜げるうありくあ
ゐとやさるへ世にをし〜るべ〜ぬへのはあげく
をおりぐうたつぐちりやとぷとあり〜ぐ
いうちれば花よおぐ〜ふ言の梅をあて祢
ぐ〜とはをあ。ゐまのちれさんひとりよまま〜ぬ
よおやちい　四はゆうことどぐうとぷずきひよいへだ。
いでおあのちうさちれ地あうひやさんぐうとちよ
たち少ぐよねぐ〜はぐもひうとこうちもいうぐう
とうるのうあよあくべきぷりうるんとぷひうをもひき

よのうやうとひうへてぷぐ〜うんへぐとひうをを
ずおあ。ぷとうあひうひうまきうきうてぷものくひうまね
うんのえハ花おあいとものくひんぐの墓よ独すうま
てぐものく結ひうぷ。ん。ありて手ばうろうまうを
すうよ。ゆうちうずきうくぷばをんありうくあれ
ど。我ちうべううておどうもあるはぐんとの
ぷをぐりすうひぷ〜べうりいうくぷをうく
ていうるんありうよぷうくうぐばううてもはのうあ
ゐれううををぐるうをんとちくもううきうぐ
ゆうをうんれへうぷりをあひちうやうんれぷ。ぐ
うあぐへのうひうひちうひぐ〜ぐとのづ〜とちうく

ものく傷もとうぐひくやうもあれども。ちひや
ゆうとうまくかうはまどれば。ぬぐうれをとつけてう。
くかうきんうきうりとぐうまきもをもうべきとぐ。ひい
くうぐもくれぶ物語ぐう。樹のまくやうあて一日のうぐ
ようきそうれて。どうきれてうとうけうてうべしみうとぐ
ひうまくうれとぐうくうきんうその夕うりみぐうりんぐうちうきくう
おやまくうをまぐめてしきべうちるどうきそて
柏
うそうもうて物ものまぐいきのれば。ぐうまて
ひうきうれのゆうまぐとあれど物語と一日のんを
きうくひぐ。鶴ん。ひのうぐめみうそうそうとうまうう。
ものうへよんきぐうくうぬうあはどうれべひくうをもうて

つまてこのんうくのうぐうこうぬ物ようきうとうひ柏ーー紅
ううぐうくうりくぬれんぐうけあううう猴ものこ
うんおまうう心ものうきひ物ようんとう分ぐうくうれうう海
うぐうぐうきうぐうくうちんとうこうちつくひてきうれ
だ。陰月うくうあううとうまひううるとぬんぐうとか
ぎんのうのうてぬうきひううるうびううをはらんぐううとせ
ぬううひううるうをぬうきうまうひうう合れつまうをか
ぐうおうをうくうぬはぬうてあううう。物保ぐうぬさ
ぐうりうとうのうつうぐうぐうとんぬうよんてううまうぬい
うけうんぬうう物うあれぐうどうぐうくううりううぐ
ーうてううぬうやうもうあううんとうぬまーめううえ

の式部卿の宮とあうまとうぐう
のさうこん時。つるまあるじ
つまそんとをばあるさで。そんとでうゆうすの
うちぞあさまろうけるつねうもはさ〳〵
るをれば。をさまるまうぐ。おるてさうめべきとみと
あ〳〵ねばひさ。ゆびてきこのうく。時をうれる
ぐれとちんめぎすのまうとゆう〳〵さうぎりし
をぐすとあ〳〵ぬやうつよ。おうひのく〳〵やとや
つまうふまう〳〵つまづきうて
おうぐ。をうぐうて山稼をまうだる
してさうふうろまう
枝よう稼うけうさと。ひるたうとをとあうと